



# データ ファイル マネージャー ユーザーズ マニュアル

**SmartAXIS FT2J/1J形**

**MICRO/I HG2J/1J形、HG5G/4G/3G/2G-V形、  
HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P 形**

**SmartAXIS Pro/Lite FT1A形**

**FC6A/5A/4A形MICROSmart**

## 改定履歴

2016年7月	初版発行
2016年12月	第2版発行
2017年3月	第3版発行
2017年8月	第4版発行
2018年4月	第5版発行
2018年12月	第6版発行
2019年3月	第7版発行
2019年12月	第8版発行
2020年12月	第9版発行
2021年7月	第10版発行
2022年1月	第11版発行
2023年9月	第12版発行
2024年7月	第13版発行

## ご注意

- ・本書およびデータ ファイル マネージャーのプログラムに関するすべての権利は、IDEC株式会社に帰属しています。弊社に無断で複製することはできません。
- ・本書およびデータ ファイル マネージャーのプログラムの内容は予告なく変更することがあります。
- ・本書およびデータ ファイル マネージャーを運用した結果の影響につきましては、弊社は一切責任を負いませんのでご了承ください。
- ・製品の内容につきましては万全を期しておりますが、ご不審の点や誤りなど、お気づきの点がございましたら、お買い求めの販売店または弊社の問い合わせ窓口までご連絡ください。

## 商標について

MicrosoftおよびWindowsは、米国あるいはその他の国におけるMicrosoft Corporationの登録商標または商標です。  
AdobeはAdobe System Incorporatedの商標です。  
記載されているその他の会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

## はじめに

本書は、データ ファイル マネージャーの機能や設定方法、注意事項などについて説明したものです。  
本書をよくお読みいただき、データ ファイル マネージャーの機能および性能をご理解のうえ、正しくご使用くださいますようお願い致します。  
また、いつでもお読みいただけるよう大切に保管してください。

## 本書の表記について

本書では、説明を簡潔にするために次の記号や用語を使用しています。

### 記号



……… 特に注意しなければならない事項を記載しています。このマークがついている箇所では操作を誤ると、大きな影響が出る場合があります。



……… その機能を利用するうえでお願いしたいことや参考にさせていただきたい情報を記載しています。



……… その機能を利用するうえで知っていると役に立つ情報を記載しています。



……… 関連情報の参照箇所を示しています。

[OK]

……… 画面上のボタンは [ ] で囲んで表しています。画面に表示されるボタンと同じ形のグラフィックを貼りつけている場合もあります。

[Shift]

……… キーボードのキーは、角の丸い図形で囲んで表しています。

[\*\*\*\*]

……… コントロール名は [ ] で囲んで表しています。

## 本書で使う略語、総称、用語

項目	内容
SmartAXIS	表示器一体形コントローラFT2J/1J形の総称です。
MICROSmart	プログラマブルコントローラFC6A形、FC5A-D12X1Eの総称です。
SmartAXIS Pro/Lite	コントローラFT1A-24/40/48の総称です。
MICRO/I	プログラマブル表示器HG2J/1J形、HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形の総称です。
接続機器	SmartAXISやMICRO/Iと常時接続、通信するPLCやマイコンの総称です。
デバイスアドレス	SmartAXIS、MICROSmart、SmartAXIS Pro/Lite、MICRO/Iおよび接続機器が搭載しているビット単位もしくはワード単位の値を格納することができるメモリのことです。
WindO/I-NV4	SmartAXISやMICRO/Iの画面を作成する作画ソフトウェアです。
WindLDR	MICROSmartやSmartAXIS Pro/Liteのラダープログラムおよびファンクションブロックダイアグラムを作成するプログラミングソフトウェアです。
プロジェクトデータ	WindO/I-NV4で作成されるSmartAXISやMICRO/Iを動作させるための画面データ含むすべてのデータのことです。拡張子は*.pn4です。
ZNVプロジェクトファイル	プロジェクトデータを基にWindO/I-NV4のダウンロード機能、またはデータファイルマネージャーのアップロード機能を用いて作成するファイルです。プロジェクトデータ、システムソフトウェアが含まれます。拡張子は.znvです。
ZNXプロジェクトファイル	プロジェクトデータを基にWindO/I-NV4のダウンロード機能を用いて作成するファイルです。プロジェクトデータ、システムソフトウェア、OSが含まれます。拡張子は.znxです。このファイルは、SmartAXISやMICRO/IのOSを含むためアップロードできません。
ZLDプロジェクトファイル	WindLDRで作成されるMICROSmartやSmartAXIS Pro/Liteを動作させるためのユーザープログラム（ラダープログラムまたはファンクションブロックダイアグラム）を含むファイルのことです。拡張子は.zldです。
外部メモリ	SDメモリカードおよびUSBメモリの総称です。
コマンドライン	Windowsのコマンドプロンプト等で記述する命令（コマンド）のことです。
HMI機能	WindO/I-NV4で作成するSmartAXISの画面や設定による機能のことです。
コントロール機能	WindLDRで作成するSmartAXISのラダープログラムや設定による制御機能のことです。

## 目次

改定履歴 .....	序-1
ご注意 .....	序-1
商標について .....	序-1
はじめに .....	序-1
本書の表記について .....	序-2
本書で使う略語、総称、用語 .....	序-2

## 第1章 データ ファイル マネージャーの機能と基本操作

1	データ ファイル マネージャーの仕様 .....	1-1
	1.1 対応機種 .....	1-1
	1.2 データ ファイル マネージャーでできること .....	1-2
2	起動と終了 .....	1-3
	2.1 データ ファイル マネージャーの起動 .....	1-3
	2.2 データ ファイル マネージャーの終了 .....	1-4
3	構成と機能 .....	1-5
	3.1 画面の構成 .....	1-5
	3.2 ツールバー .....	1-6
4	データ ファイル マネージャーのカスタマイズ .....	1-9
	4.1 オプション機能を設定する .....	1-9

## 第2章 PLC接続時の使いかた

1	PLCと接続する .....	2-1
	1.1 [接続設定] ダイアログボックス .....	2-1
2	システム情報とステータスの表示 .....	2-6
3	ファイルやフォルダーの表示と操作 .....	2-7
	3.1 ファイルやフォルダーの表示 .....	2-7
	3.2 ファイルやフォルダーをダウンロードする .....	2-9
	3.3 ファイルやフォルダーをアップロードする .....	2-11
4	PLCの運転状態を変更する .....	2-12
	4.1 スタート操作 .....	2-12
	4.2 ストップ操作 .....	2-12
5	ダウンロード .....	2-13
	5.1 ZLDプロジェクト ファイルをダウンロードする .....	2-13
	5.2 システムソフトウェアをダウンロードする .....	2-14
6	アップロード .....	2-16
	6.1 ZLDプロジェクト ファイルをアップロードする .....	2-16
7	デバイスアドレスのデータのダウンロードとアップロード .....	2-17
	7.1 デバイスアドレスのデータ .....	2-17
	7.2 デバイスアドレスのデータをダウンロードする .....	2-19
	7.3 デバイスアドレスのデータを接続先の機器からアップロードする .....	2-20
8	クリア .....	2-21

8.1	接続先の機器のデータをクリアする .....	2-21
9	SDメモリカードのフォーマット .....	2-22

### 第3章 HMI接続時の使いかた

1	HMIと接続する .....	3-1
1.1	[接続設定] ダイアログボックス .....	3-1
2	システム情報とステータスの表示 .....	3-6
3	ファイルやフォルダーの表示と操作 .....	3-7
3.1	ファイルやフォルダーの表示 .....	3-7
3.2	ファイルやフォルダーをダウンロードする .....	3-9
3.3	ファイルやフォルダーをアップロードする .....	3-11
4	ラダープログラムをRUN中またはSTOP中に変更する .....	3-12
4.1	RUN中にする .....	3-12
4.2	STOP中にする .....	3-12
5	ダウンロード .....	3-13
5.1	ZNVプロジェクト ファイルを接続先の機器へダウンロードする .....	3-13
5.2	ZNXプロジェクト ファイルを接続先の機器へダウンロードする .....	3-15
5.3	ファイルを接続先の機器に挿入した外部メモリへダウンロードする .....	3-16
6	アップロード .....	3-17
6.1	ZNVプロジェクト ファイルを接続先の機器からアップロードする .....	3-17
6.2	履歴データをアップロードする .....	3-18
6.3	接続先の機器に挿入した外部メモリのファイルをアップロードする .....	3-19
7	デバイスアドレスのデータのダウンロードとアップロード .....	3-20
7.1	デバイスアドレスのデータ .....	3-20
7.2	デバイスアドレスのデータをダウンロードする .....	3-21
7.3	デバイスアドレスのデータを接続先の機器からアップロードする .....	3-22
8	クリア .....	3-23
8.1	接続先の機器のデータをクリアする .....	3-23
8.2	接続先の機器に挿入した外部メモリのデータを消去する .....	3-24
9	外部メモリのフォーマット .....	3-25
9.1	接続先の機器に挿入した外部メモリをフォーマットする .....	3-25

### 第4章 コマンドライン

1	コマンドライン .....	4-1
1.1	記述形式 .....	4-1
1.2	パラメータの詳細 .....	4-1



# 第1章 データファイルマネージャーの機能と基本操作

この章では、データ ファイル マネージャーの対応機種や機能、起動と終了方法などについて説明します。

## 1 データ ファイル マネージャーの仕様

### 1.1 対応機種

データ ファイル マネージャーに対応しているIDEC社製PLCおよびプログラマブル表示器は、次のとおりです。

データ ファイル マネージャーでの名称	シリーズ名	略称	形番
PLC	MICROSmart	FC6A形	FC6A-C16***E、FC6A-C24***E、FC6A-C40***E、FC6A-C40***EJ、FC6A-D16**CEE、FC6A-D32**CEE
		FC5A形	FC5A-C10R2*、FC5A-C16R2*、FC5A-C24R2*、FC5A-D16R*1、FC5A-D32*3、FC5A-D12*1E
		FC4A形	FC4A-C10R2*、FC4A-C16R2*、FC4A-C24R2*、FC4A-D20*3、FC4A-D20R*1、FC4A-D40*3
	SmartAXIS Pro/Lite	FT1A形	FT1A-12、FT1A-24、FT1A-40、FT1A-48
HMI	SmartAXIS	FT2J形	FT2J-7U22*AF-B
		FT1J形	FT1J-4F1**AG-*
	MICRO/I	HG2J形	HG2J-7UT22TF-B
		HG1J形	HG1J-4FT22AG-*
		HG5G/4G/3G-V形	HG5G-VFXT22MF-B、HG4G-VCXT22MF-B、HG3G-V*XT22MF-*
		HG2G-V形	HG2G-V5FT22TF-*
		HG2G-5T形	HG2G-5T*22TF-*
		HG1G形	HG1G-4VT22TF-*
		HG1P形	HG1P-ST32*BFH-B0
		HG4G/3G形	HG4G-CJT22*F-B、HG3G-*JT22*F-*
HG2G-5F形	HG2G-5FT22TF-*		

## 1.2 データ ファイル マネージャーでできること

データ ファイル マネージャーでは、次の機能が使用できます。

### ● MICROSmart、SmartAXIS Pro/Lite

○：対応、×：非対応

機能	MICROSmart			SmartAXIS Pro/Lite
	FC6A形	FC5A形	FC4A形	FT1A形
PLCの運転状態を変更する	○	○	○	○
ZLDプロジェクトファイル (.zld) をダウンロードまたはアップロード	○	○	○	○
システムソフトウェアをダウンロード	○	○	○	○
ファイルやフォルダーを外部メモリへダウンロード	○	×	×	×
外部メモリからファイルやフォルダーをアップロード	○	×	×	○
デバイスアドレスのデータ (.csv) をダウンロードまたはアップロード	○	○※1	×	○
内蔵メモリや外部メモリのデータをクリア	○	○※2	○※2	○※2
外部メモリのフォーマット	○	×	×	○
外部メモリのファイルやフォルダーの表示や操作	○	×	×	○※3
ステータスやシステム情報の表示	○	○	○	○
操作ログの表示	○	×	×	○
コマンドライン	○	○	○	○

### ● SmartAXIS、MICRO/I

○：対応、×：非対応

機能	SmartAXIS	MICRO/I	
	FT2J/1J形	HG2J/1J形	HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形
ラダー プログラムをRUN中またはSTOP中に変更する	○	×	×
ZNVプロジェクトファイル (.znv) をダウンロードまたはアップロード※4	○	○	○
ZNX プロジェクトファイル (.znx) のダウンロード	○	○	×
内蔵メモリのデータをアップロード (履歴データのアップロード)	○	○	○
ファイルやフォルダーを外部メモリへダウンロード	○	○	○
外部メモリからファイルやフォルダーをアップロード	○	○	○
デバイスアドレスのデータ (.csv) をダウンロードまたはアップロード	○	○	○
内蔵メモリや外部メモリのデータをクリア	○	○	○
外部メモリのフォーマット	×	×	○
外部メモリのファイルやフォルダーの表示や操作	○	○	○
ステータスやシステム情報の表示	○	○	○
操作ログの表示	○	○	○
コマンドライン	○	○	○

※1 FC5A-D12X1Eのみ

※2 内蔵メモリのみ

※3 ファイルやフォルダーの表示、削除およびアップロードのみ

※4 WindO/I-NV2 で作成したZNVプロジェクト ファイルには対応していません。

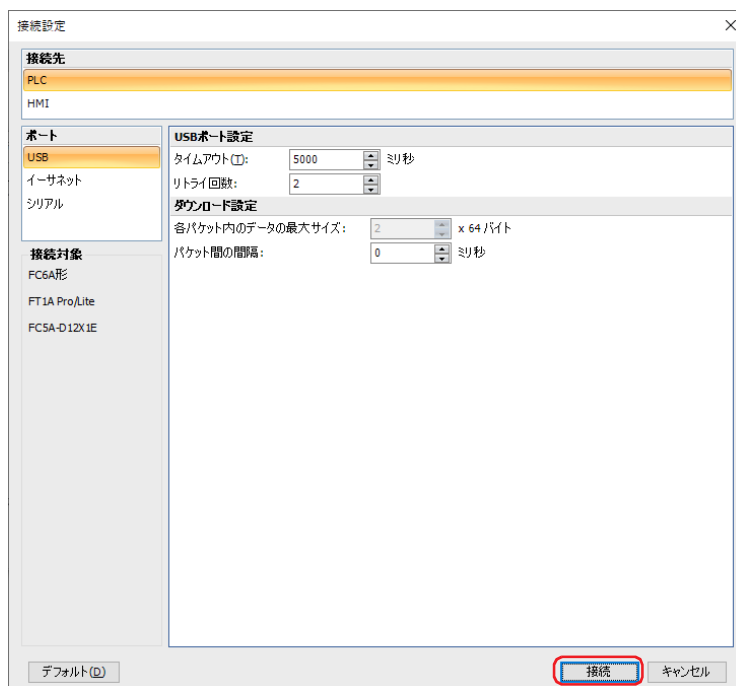


## 2 起動と終了

### 1

### 2.1 データ ファイル マネージャーの起動


- 1 データ ファイル マネージャーを起動します。  
[接続設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 [接続先] を次の中から選択します。  
"PLC"、"HMI"
- 3 [ポート] を次の中から選択します。  
"USB"、"イーサネット"、"シリアル※1"
- 4 各設定項目を必要に応じて変更します。  
詳細は、[接続先] が"PLC"の場合は、2-1ページ「第2章 1 PLCと接続する」を、[接続先] が"HMI"の場合は、3-1ページ「第3章 1 HMIと接続する」を参照してください。
- 5 [接続] ボタンをクリックします。



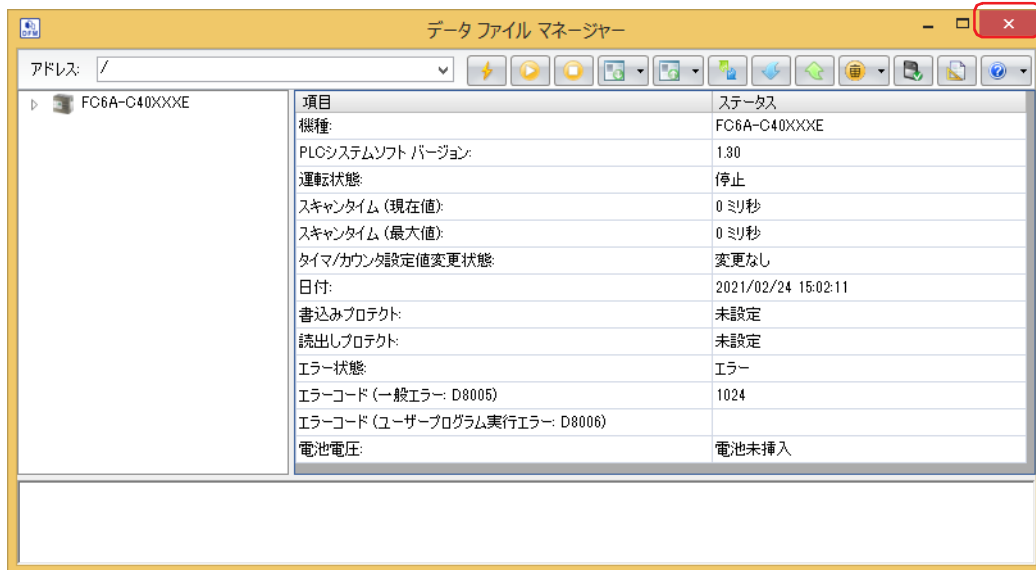
データ ファイル マネージャーのメイン ウィンドウが開き、接続先のステータスまたはシステム情報が表示されます。

※1 [接続先] が"PLC"の場合のみ

## 2.2 データ ファイル マネージャーの終了

 をクリックします。

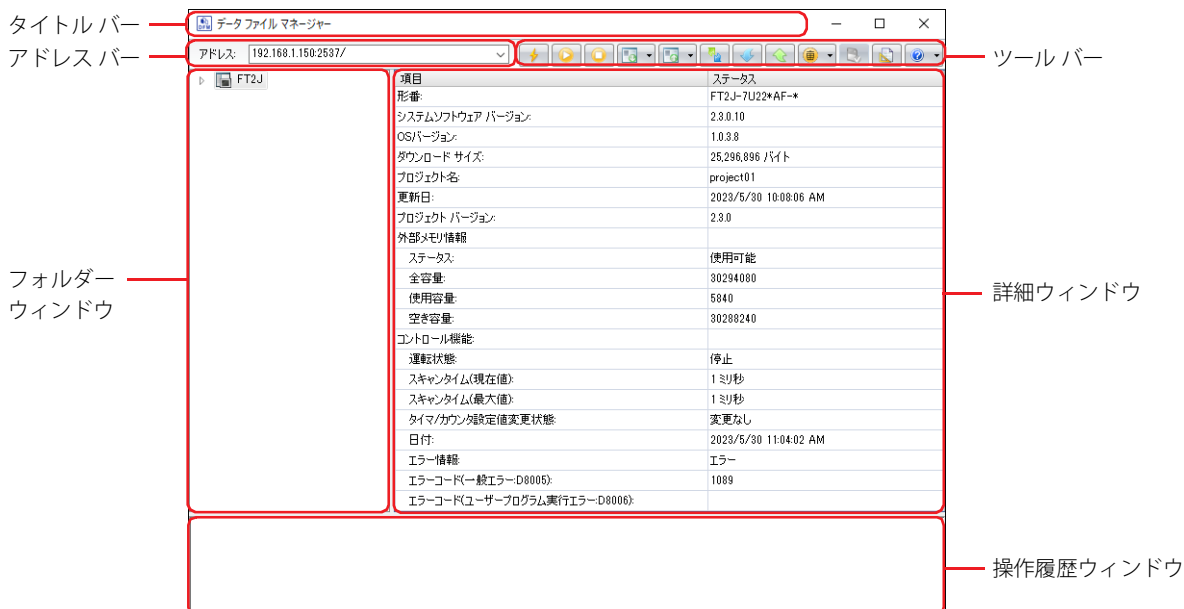
データ ファイル マネージャーが終了します。



## 3 構成と機能

### 3.1 画面の構成

データ ファイル マネージャーを構成する各部の名称と機能について説明します。



#### ■ タイトルバー

ソフトウェア名が表示されます。

#### ■ アドレスバー

接続先のアドレスや接続先の機器に挿入されている外部メモリのフォルダーパスが表示されます。接続先の機器によって表示される内容が異なります。クリックすると、表示されている内容を編集できます。Enterキーを押して、変更した内容を確定すると、指定した先に移動します。

PLC： 詳細は、2-6ページ「第2章 アドレスバー」および2-7ページ「第2章 アドレスバー」を参照してください。

HMI： 詳細は、3-6ページ「第3章 アドレスバー」および3-7ページ「第3章 アドレスバー」を参照してください。



アドレスバーに、次の文字は使用できません。

FT2J/1J形、HG2J/1J形： "# \$ & ' ( ) \* / : ; < > ? ¥ ` | ~  
連続した2個のピリオド

HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形： " \* / : < > ? ¥ |

#### ■ ツールバー

コマンドがボタンで表示されます。詳細は、1-6ページ「3.2 ツールバー」を参照してください。

#### ■ フォルダー ウィンドウ

機種名、外部メモリおよびフォルダーが表示されます。

#### ■ 詳細ウィンドウ

接続先の機器のステータスやシステム情報、またはフォルダー ウィンドウで選択したファイルやフォルダーが一覧表示されます。

PLC： 詳細は、2-6ページ「第2章 詳細ウィンドウ」および2-8ページ「第2章 詳細ウィンドウ」を参照してください。

HMI： 詳細は、3-6ページ「第3章 詳細ウィンドウ」および3-8ページ「第3章 詳細ウィンドウ」を参照してください。

#### ■ 操作履歴ウィンドウ

接続先の機器に挿入されている外部メモリのファイルの操作履歴を表示します。

PLC： 詳細は、2-8ページ「第2章 操作履歴ウィンドウ」を参照してください。













HMI： 詳細は、3-8ページ「第3章 操作履歴ウィンドウ」を参照してください。

## 3.2 ツールバー

ツールバーの構成は、接続先の機器によって異なります。

### ● PLC

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

ボタン	コマンド	内容	参照先	
	接続	[接続設定] ダイアログボックスが表示されます。	2-1ページ	
	スタート	PLCの運転状態を停止中から運転中に変更します。	2-12ページ	
	ストップ	PLCの運転状態を運転中から停止中に変更します。	2-12ページ	
	ダウンロード	ZLDプロジェクトファイル (zld)をダウンロード	2-13ページ	
		システムソフトウェアをダウンロード	PLCのシステムソフトウェアを書き換えます。	2-14ページ
		ファイルをダウンロード	パソコンに保存しているファイルをPLCに挿入したSDメモリカードに書き込みます。	2-9ページ
		フォルダーをダウンロード	パソコンに保存しているフォルダーをPLCに挿入したSDメモリカードに書き込みます。	2-10ページ
	アップロード	ZLDプロジェクトファイル (zld)をアップロード	2-16ページ	
		ファイル/フォルダーをアップロード	詳細ウィンドウに表示されているファイルやフォルダーをパソコンに保存します。	2-11ページ
	更新	接続先の機器から最新の情報を取得し、表示を更新します。	—	
	デバイスアドレスのデータ(csv)をダウンロード	パソコンに保存しているデバイスアドレスのデータ (csv) を接続先にダウンロードし、デバイスアドレスに値を書き込みます。	2-19ページ	
	デバイスアドレスのデータ(csv)をアップロード	デバイスアドレスの値を接続先の機器から読み出し、CSV形式のファイルとしてパソコンに保存します。	2-20ページ	
	クリア	すべてのデバイスアドレスの値をクリア	2-21ページ	
		エラー クリア	接続先の機器の内蔵メモリに保存されているエラー情報をクリアします。	
	SDメモリカードのフォーマット	PLCに挿入しているSDメモリカードをフォーマットします。	2-22ページ	
	オプション	データ ファイル マネージャーのオプション機能を設定します。	1-9ページ	
	ヘルプ	ヘルプ	—	
		データ ファイル マネージャーについて	[データ ファイル マネージャーについて] ダイアログボックスが表示されます。	—

## ● HMI

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I





ボタン	コマンド	内容	参照先	
	接続	[接続設定] ダイアログボックスが表示されます。	3-1ページ	
	スタート※1	ラダー プログラムをSTOP中からRUN中に変更します。	3-12ページ	
	ストップ※1	ラダー プログラムをRUN中からSTOP中に変更します。	3-12ページ	
	ダウンロード	パソコンに保存しているZNVプロジェクト ファイル (.znv) またはZNXプロジェクト ファイル (.znx) ※2を接続先の機器に書き込みます。	3-13ページ	
		ZNV/ZNXプロジェクト ファイル(.znv/.znx)をダウンロード		アイコン (ダウンロード) をクリックした場合と同じです。
		ファイルを外部メモリへダウンロード	接続先の機器の運転を停止し、パソコンに保存しているファイルを接続先の機器に挿入している外部メモリに書き込みます。ファイルの書き込みが完了すると、運転を再開します。	3-16ページ
	運転中にファイルを外部メモリへダウンロード	接続先の機器を停止せずに、パソコンに保存しているファイルを接続先の機器に挿入している外部メモリに書き込みます。		
	アップロード	接続先の機器で運転に使用しているプロジェクトを読み出して、ZNVプロジェクト ファイル (.znv) としてパソコンに保存します。	3-17ページ	
		ZNVプロジェクト ファイル (.znv)をアップロード	アイコン (アップロード) をクリックした場合と同じです。	
		すべての履歴データをアップロード	接続先の機器の内蔵メモリに保存されているすべての履歴データを読み出して、パソコンに保存します。	3-18ページ
		アラーム履歴のデータをアップロード	接続先の機器の内蔵メモリに保存されているアラーム履歴のデータを読み出して、パソコンに保存します。	
		データ履歴のデータをアップロード	接続先の機器の内蔵メモリに保存されているデータ履歴のデータを読み出して、パソコンに保存します。	
		操作履歴のデータをアップロード	接続先の機器の内蔵メモリに保存されている操作履歴のデータを読み出して、パソコンに保存します。	
外部メモリのファイルをアップロード	接続先の機器に挿入している外部メモリ から指定したファイルを読み出してパソコンに保存します。	3-19ページ		
	更新	接続先の機器から最新の情報を取得し、表示を更新します。	—	
	デバイス アドレスのデータ (.csv)をダウンロード	パソコンに保存しているデバイス アドレスのデータ (.csv) を接続先にダウンロードし、デバイス アドレスに値を書き込みます。	3-21ページ	
	デバイス アドレスのデータ ((.csv)をアップロード	デバイス アドレスの値を接続先の機器から読み出し、CSV形式のファイルとしてパソコンに保存します。	3-22ページ	



ラダー プログラムの状態は、特殊内部リレー M8000の値で操作できます。値が1になるとRUN中に、0になるとSTOP中になります。

※1 FT2J/1J形のみ

※2 FT2J/1J形、HG2J/1J形のみ

ボタン	コマンド	内容	参照先	
	クリア	すべてのデータをクリア	接続先の機器の内蔵メモリに保存されているすべてのデータをクリアします。	3-23ページ
		アラーム履歴のデータをクリア	接続先の機器の内蔵メモリに保存されているアラーム履歴のデータをクリアします。	
		データ履歴のデータをクリア	接続先の機器の内蔵メモリに保存されているデータ履歴のデータをクリアします。	
		操作履歴のデータをクリア	接続先の機器の内蔵メモリに保存されている操作履歴のデータをクリアします。	
		すべてのデバイスアドレスの値をクリア	すべてのデバイスアドレスの値をクリアします。	
	コントロール デバイスの値をクリア※1	接続先の機器の内蔵メモリに保存されているコントロール デバイスの値をクリアします。	3-23ページ	
	コントロール機能のエラーをクリア※1	接続先の機器の内蔵メモリに保存されているコントロール機能のエラー情報をクリアします。	3-23ページ	
	外部メモリのファイルをクリア	接続先の機器に挿入している外部メモリに保存されているデータをクリアします。	3-24ページ	
	外部メモリのフォーマット※3	接続先の機器に挿入している外部メモリをフォーマットします。	3-25ページ	
	オプション	データ ファイル マネージャーのオプション機能を設定します。	1-9ページ	
	ヘルプ		データ ファイル マネージャーのヘルプが表示されます。	—
		ヘルプ	アイコン (ヘルプ) をクリックした場合と同じです。	—
		データ ファイル マネージャーについて	[データ ファイル マネージャーについて] ダイアログボックスが表示されます。	—

※1 FT2J/1J形のみ

※3 HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形のみ


## 4 データ ファイル マネージャーのカスタマイズ

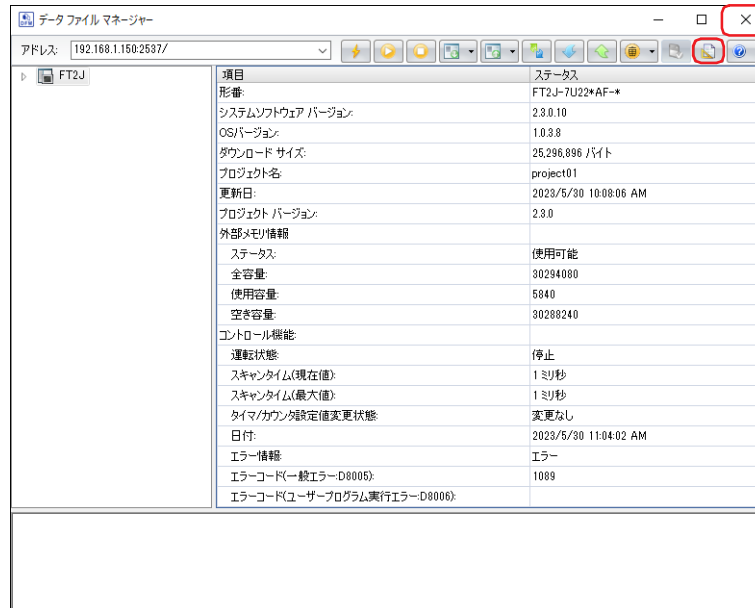
## 1

### 4.1 オプション機能を設定する

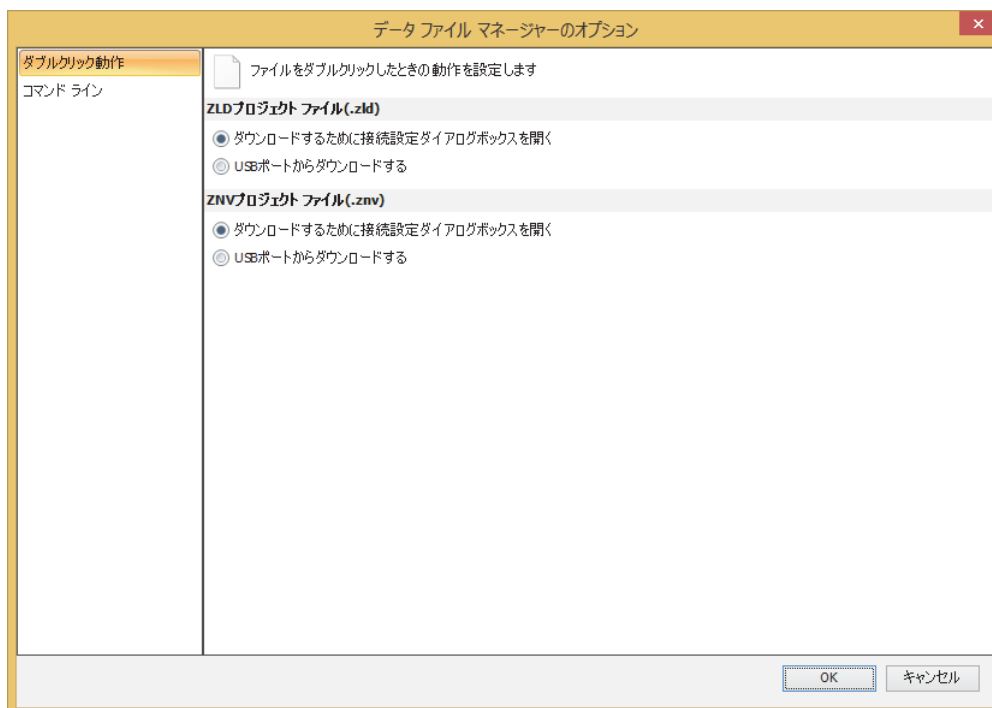
ダブルクリック動作やコマンドラインの実行履歴の保存を設定できます。ここで設定した内容は、データ ファイル マネージャーを終了しても保存されます。

オプション機能の設定手順は、次のとおりです。

- 1 ツールバーの (オプション) をクリックします。  
[データ ファイル マネージャーのオプション] ダイアログボックスが表示されます。

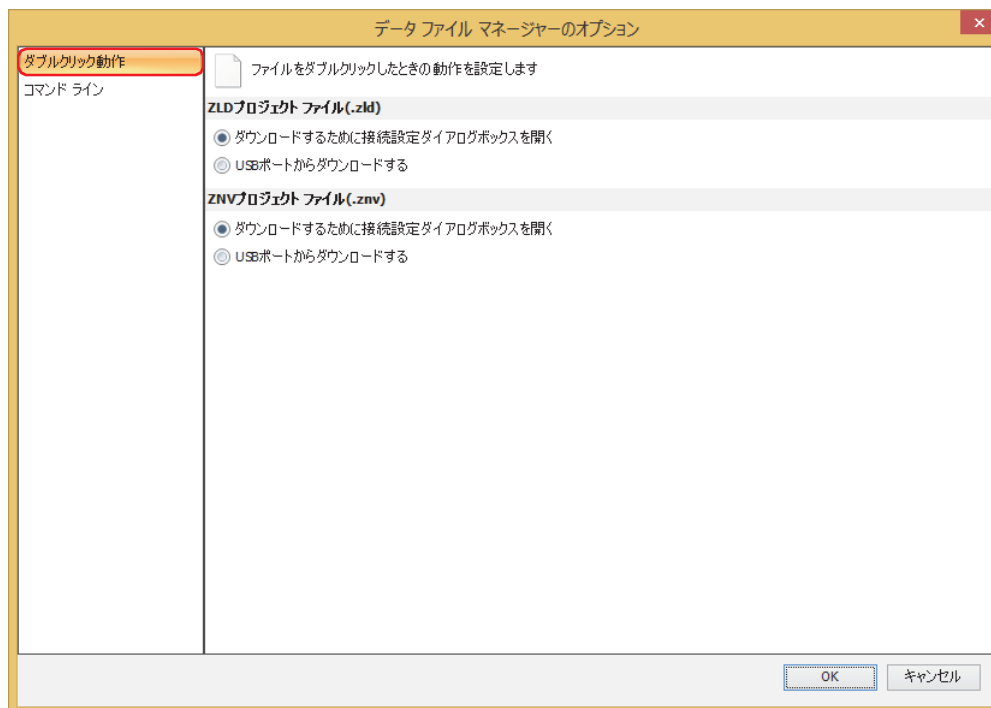


- 2 各タブの設定項目を必要に応じて設定します。



## ● [ダブルクリック動作] タブ

エクスプローラーなどを使用して、プロジェクト ファイルをダブルクリックしたときの動作を設定します。



### ■ ZLDプロジェクトファイル(.zld)

ZLDプロジェクト ファイルをダブルクリックしたときの動作を選択します。データ ファイル マネージャーのメイン ウィンドウは表示されません。

ダウンロードするために接続設定ダイアログボックスを開く:

ファイルをダブルクリックすると、接続設定ダイアログボックスが開きます。ここで指定した通信ポートから接続先の機器にZLDプロジェクト ファイルをダウンロードします。

USBポートからダウンロードする: ファイルをダブルクリックすると、USBポートから接続先の機器にZLDプロジェクト ファイルをダウンロードします。

### ■ ZNVプロジェクトファイル(.znv)

ZNVプロジェクト ファイルをダブルクリックしたときの動作を選択します。データ ファイル マネージャーのメイン ウィンドウは表示されません。

ダウンロードするために接続設定ダイアログボックスを開く:

ファイルをダブルクリックすると、[接続先] にダウンロードするプロジェクトに応じた機器を選択した状態で接続設定ダイアログボックスが表示されます。ここで指定した通信ポートから接続先の機器にZNVプロジェクト ファイルをダウンロードします。

USBポートからダウンロードする: ファイルをダブルクリックすると、USBポートから接続先の機器にZNVプロジェクト ファイルをダウンロードします。



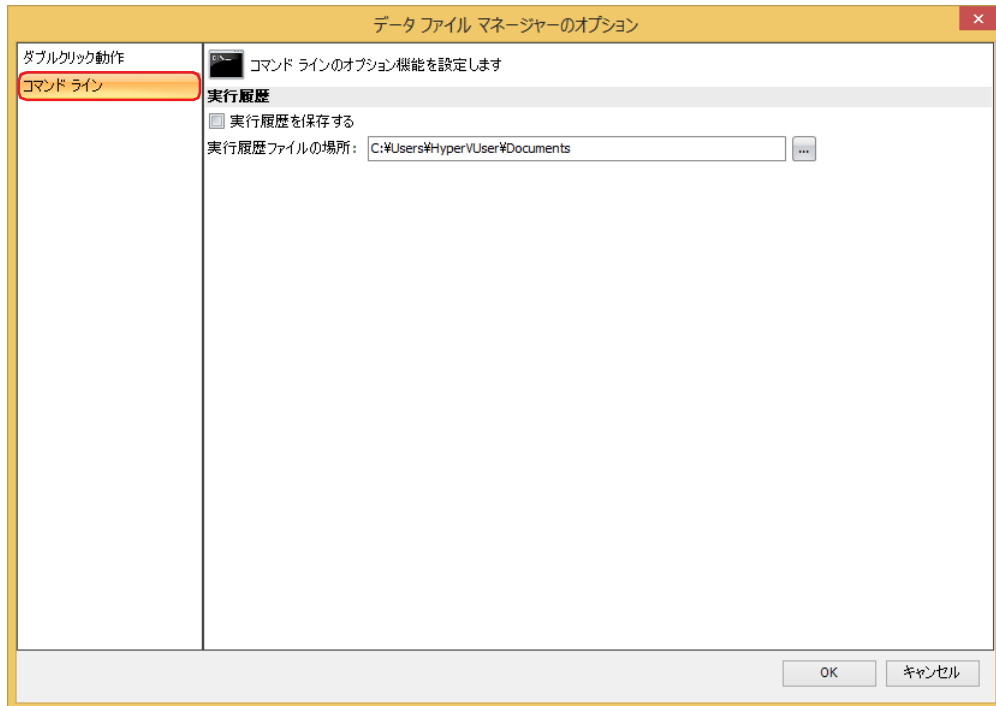
ZNXプロジェクトファイル<sup>※1</sup>をダブルクリックすると、[接続先] にダウンロードするプロジェクトに応じた機器を、[ポート] に"イーサネット"を選択した状態の接続設定ダイアログボックスが表示されます。

※1 FT2J/1J形、HG2J/1J形のみ



## ● [コマンドライン] タブ

コマンドラインのオプション機能を設定します。



### ■ 実行履歴

実行履歴を保存する： コマンドラインで実行した内容をファイルに保存します。

実行履歴ファイルの場所： コマンドラインの実行履歴のファイルを保存する場所を指定します。[...] をクリックすると、[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。[実行履歴を保存する] チェックボックスがオンの場合に設定できます。



# 第2章 PLC接続時の使いかた

この章では、PLCを接続してデータ ファイル マネージャーを使用する方法について説明します。

## 1 PLCと接続する

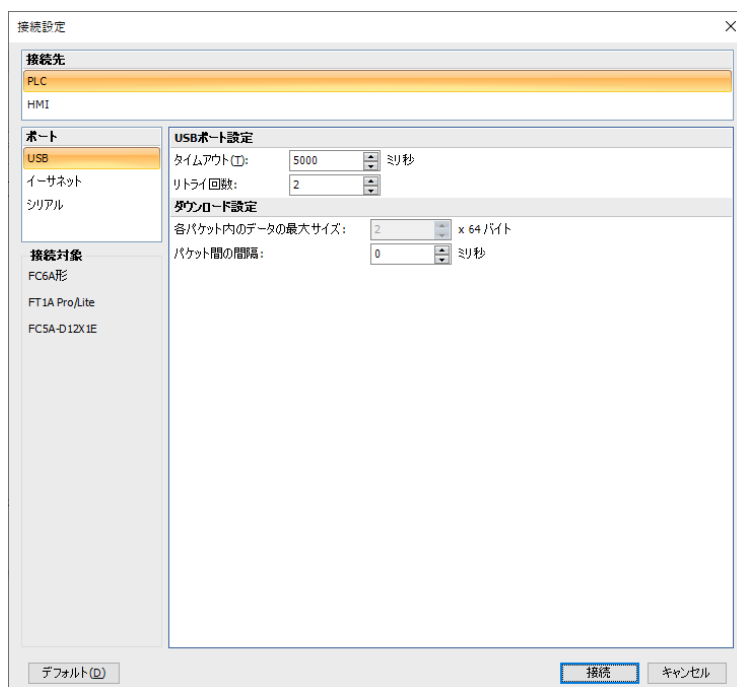
FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

2

PLC接続時の使いかた

### 1.1 [接続設定] ダイアログボックス

データ ファイル マネージャーからPLCへの接続方法にあわせて、通信設定を行います。



#### ■ 接続先

接続先の機器を次の中から選択します。

PLC： パソコンとMICROSmart、またはSmartAXIS Pro/Liteを接続します。

HMI： パソコンとSmartAXIS、またはMICRO/Iを接続します。

#### ■ ポート

パソコン側の通信ポートを次の中から選択します。

USB： パソコンのUSBポートと接続先の機器のUSBインターフェイスを接続して通信します。

イーサネット： パソコンのイーサネット ポートと接続先の機器のイーサネット インターフェイスを接続して通信します。

シリアル： パソコンのシリアル ポートと接続先の機器のシリアル インターフェイスを接続して通信します。



通信ポートに“シリアル”を設定した場合、接続先の機器に挿入された外部メモリにアクセスできません。  
ただし、[Bluetooth通信を使う] チェックボックスをオンにした場合は、接続先の機器に挿入された外部メモリにアクセスできます。

#### ■ 接続対象

[接続先] と [ポート] で設定した内容に応じて、接続可能な機器を表示します。

#### ■ USBポート設定

[ポート] で“USB”を選択した場合のみ設定できます。

タイムアウト： 接続先の機器からの応答待ち時間（5000～32767ミリ秒）を指定します。

リトライ回数： 接続先の機器と通信できないとき、再接続を実行する回数（1～3）を指定します。再接続を実行した回数が設定した回数に達すると、通信エラーが表示されます。

## ■ イーサネット ポート設定

[ポート] で“イーサネット”を選択した場合のみ設定できます。

IPアドレス： 接続先の機器のIPアドレスが表示されます。

[通信先一覧] ボタン： 接続先の機器のIPアドレスおよびポート番号を指定します。このボタンをクリックすると、[通信先一覧] ダイアログボックスが表示されます。詳細は、2-3ページ「[通信先一覧] ダイアログボックス」を参照してください。

[ネットワーク検索] ボタン： パソコンとメンテナンス通信で接続できるネットワーク上の接続先の機器を検索し、検索結果を使って、接続先の機器のIP設定を変更できます。このボタンをクリックすると、[ネットワーク検索] ダイアログボックスが表示されます。詳細は、2-4ページ「[ネットワーク検索] ダイアログボックス」を参照してください。

ポート番号： 接続先の機器のポート番号（0～65535）が表示されます。

タイムアウト： 接続先の機器からの応答待ち時間（3000～30000ミリ秒）を指定します。

リトライ回数： 接続先の機器と通信できないとき、再接続を実行する回数（1～3）を指定します。再接続を実行した回数が設定した回数に達すると、通信エラーが表示されます。

## ■ シリアル ポート設定

[ポート] で“シリアル”を選択した場合のみ設定できます。

通信ポート： 接続先の機器を接続しているシリアル インターフェイスを“COM1”～“COM256”から選択します。

通信速度： 接続先の機器との通信速度を次の中から選択します。  
“1200 bps”、“2400 bps”、“4800 bps”、“9600 bps”、“19200 bps”、“38400 bps”、“57600 bps”、“115200 bps”

データビット長： データビット長を“7ビット”または“8ビット”から選択します。

パリティ： パリティを次の中から選択します。  
“なし”、“偶数”、“奇数”

ストップビット： ストップビットを“1ビット”または“2ビット”から選択します。

タイムアウト： 接続先の機器からの応答待ち時間（100～32767ミリ秒）を指定します。

リトライ回数： 接続先の機器と通信できないとき、再接続を実行する回数（1～3）を指定します。再接続を実行した回数が設定した回数に達すると、通信エラーが表示されます。

[通信設定の自動検出] ボタン： シリアルポートに接続している接続先の機器の通信設定を自動検出します。

## ■ PLCネットワーク設定

[ポート] で“シリアル”を選択した場合のみ設定できます。

1:1： 1台の接続先の機器に接続します。

1:N： 同じネットワーク内にPLCが複数台存在するとき、指定した接続先の機器に接続します。

スレーブ番号： WindLDRの [ファンクション設定] で設定した接続先の機器のネットワーク番号（0～31）を指定します。

## ■ ダウンロード設定

各パケット内のデータの最大サイズ： 通信パケットの最大サイズを1～64（×64バイト単位）で指定します。  
パケットサイズが原因で通信の応答が遅れる場合に変更してください。

パケット間隔： パケットの通信間隔（0～3000ミリ秒）を指定します。  
ネットワークの混雑状況が原因で通信の応答が遅れる場合に変更してください。

## ■ 通信オプション

[ポート] で“シリアル”を選択した場合のみ設定できます。

Bluetooth通信を使う： 接続先の機器とBluetooth通信を行う場合は、このチェックボックスをオンにします。  
Bluetooth通信を行う手順の詳細は、FC6A形マイクロスマート 通信マニュアル「第9章 Bluetooth通信」を参照してください。

## ■ [デフォルト] ボタン

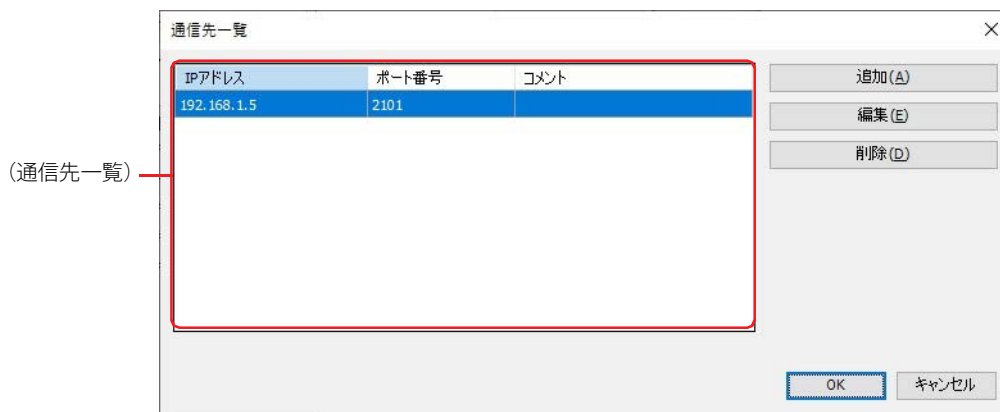
設定した値がデフォルトに戻ります。

## ■ [接続] ボタン

指定した接続先との通信を開始します。

## ● [通信先一覧] ダイアログボックス

接続先の機器のIP設定を一括管理します。



### ■ (通信先一覧)

IPアドレス： [通信先IPアドレス設定] ダイアログボックスで登録したIPアドレスが表示されます。

ポート番号： [通信先IPアドレス設定] ダイアログボックスで登録したポート番号が表示されます。

コメント： [通信先IPアドレス設定] ダイアログボックスで登録したコメントが表示されます。

### ■ [追加] ボタン

(通信先一覧) に接続先の機器のIPアドレスの設定を追加します。このボタンをクリックすると、[通信先IPアドレス設定] ダイアログボックスが表示されます。詳細は、「[通信先IPアドレス設定] ダイアログボックス」を参照してください。

### ■ [編集] ボタン

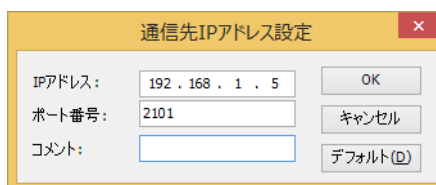
(通信先一覧) の設定を変更します。(通信先一覧) で変更する設定を選択し、このボタンをクリックすると、[通信先IPアドレス設定] ダイアログボックスが表示されます。詳細は、「[通信先IPアドレス設定] ダイアログボックス」を参照してください。

### ■ [削除] ボタン

(通信先一覧) から選択した設定を削除します。

## [通信先IPアドレス設定] ダイアログボックス

接続先の機器のIP設定を指定します。



### ■ IPアドレス

接続先の機器のIPアドレスを指定します。入力形式は“xxx.xxx.xxx.xxx”となります。“xxx”には0から255までの値を入力します。

### ■ ポート番号

接続先の機器のポート番号 (0~65535) を指定します。

### ■ コメント

IP設定のコメントを入力します。最大文字数は半角で80文字です。

### ■ [デフォルト] ボタン

設定した値がデフォルトに戻ります。

## ● [ネットワーク検索] ダイアログボックス

ネットワーク上を検索して見つかった接続先の機器の情報を表示し、設定を変更できます。



- 検索対象は、FC6A-D16\*\*CEEおよびFC6A-D32\*\*CEEのみです。
  - MACアドレスは変更できません。
  - ポート番号は変更できないため、表示されません。
  - 次の操作には、接続先の機器のプロジェクトでIP設定/DNS設定の切り替え機能が有効になっている必要があります。
    - 検索結果の内容を変更する
    - MACアドレスの左にあるチェックボックスをオンにする
- 詳細は、FC6A形マイクロスマート 通信 マニュアルの「第3章 IP設定/DNS設定の切り替え」を参照してください。

ネットワーク検索 (Plus CPU モジュール)

MACアドレス	IPアドレス	サブネットマスク	デフォルトゲートウェイ	優先DNSサーバー	代替DNSサーバー
<input type="checkbox"/> 00:03:7B:BA:00:E8	192.168.1.5	255.255.255.0	192.168.1.1	8.8.8.8	1.1.1.1
<input type="checkbox"/> 00:03:7B:BA:00:E9	192.168.1.30	255.255.255.0	192.168.1.1	8.8.8.8	1.1.1.1
<input type="checkbox"/> 00:03:7B:BA:01:02	192.168.1.5	255.255.255.0	192.168.1.1	8.8.8.8	1.1.1.1
<input type="checkbox"/> 00:03:7B:BA:01:03	192.168.2.125	255.255.255.0	192.168.2.1	8.8.8.8	1.1.1.1

ネットワーク アダプター(N): ASIX AX88772B USB2.0 to Fast Ethernet Adaptor

検索(S) 適用(A) 選択(L)

4個のデバイス情報が検出されました。

(通信先一覧) (プログレスバー) (ステータスメッセージ)

### ■ (通信先一覧)

[検索] ボタンをクリックすると、ネットワーク上を検索して見つかった接続先の機器の設定が表示されます。セルをクリックすると、設定を変更できます。変更した設定を接続先の機器に書き込む場合は、変更するMACアドレスの左にあるチェックボックスをオンにし、[適用] ボタンをクリックします。

- MACアドレス： 接続先の機器のMACアドレスが表示されます。
- IPアドレス： 接続先の機器に設定されている現在のIPアドレスが表示されます。セルをクリックすると、値を変更できます。入力形式は“xxx.xxx.xxx.xxx”となります。“xxx”には0から255までの値を入力します。
- サブネットマスク： 接続先の機器に設定されている現在のサブネットマスクが表示されます。セルをクリックすると、値を変更できます。入力形式は“xxx.xxx.xxx.xxx”となります。“xxx”には0から255までの値を入力します。
- デフォルトゲートウェイ： 接続先の機器に設定されている現在のデフォルトゲートウェイが表示されます。セルをクリックすると、値を変更できます。入力形式は“xxx.xxx.xxx.xxx”となります。“xxx”には0から255までの値を入力します。
- 優先DNSサーバー： 接続先の機器に設定されている現在の優先DNSサーバーが表示されます。セルをクリックすると、値を変更できます。入力形式は“xxx.xxx.xxx.xxx”となります。“xxx”には0から255までの値を入力します。
- 代替DNSサーバー： 接続先の機器に設定されている現在の代替DNSサーバーが表示されます。セルをクリックすると、値を変更できます。入力形式は“xxx.xxx.xxx.xxx”となります。“xxx”には0から255までの値を入力します。



(通信先一覧) の文字の表示色の意味は、次のとおりです。

- 黒色： 検索結果です。
- 赤色： 検索結果から設定が変更されています。
- 緑色： 変更した設定を接続先の機器に反映済みです。

**■ ネットワークアダプター**

パソコンで使用するネットワーク アダプターを選択します。パソコンで有効になっているネットワーク アダプターのみ表示されます。

**■ (プログレスバー)、(ステータス メッセージ)**

[検索] ボタンや [適用] ボタンによる処理の進捗状況や結果が表示されます。

**■ [検索] ボタン**

ネットワーク上を検索して、応答のあった接続先の機器の情報が (通信先一覧) に表示されます。

**■ [適用] ボタン**

(通信先一覧) で変更した設定を接続先の機器に書き込みます。MACアドレスの左にあるチェックボックスのいずれかまたはすべてをオンにした場合のみ有効になります。

**■ [選択] ボタン**

[接続設定] ダイアログボックスに戻り、(通信先一覧) で選択した行のMACアドレスの接続先の機器に設定されているIPアドレスとポート番号を設定します。(通信先一覧) でパソコンとメンテナンス通信で接続できる機器を選択した場合のみ、有効になります。接続先の機器の設定については、FC6A形マイクロスマート 通信マニュアルの「第3章 コネクション設定」を参照してください。





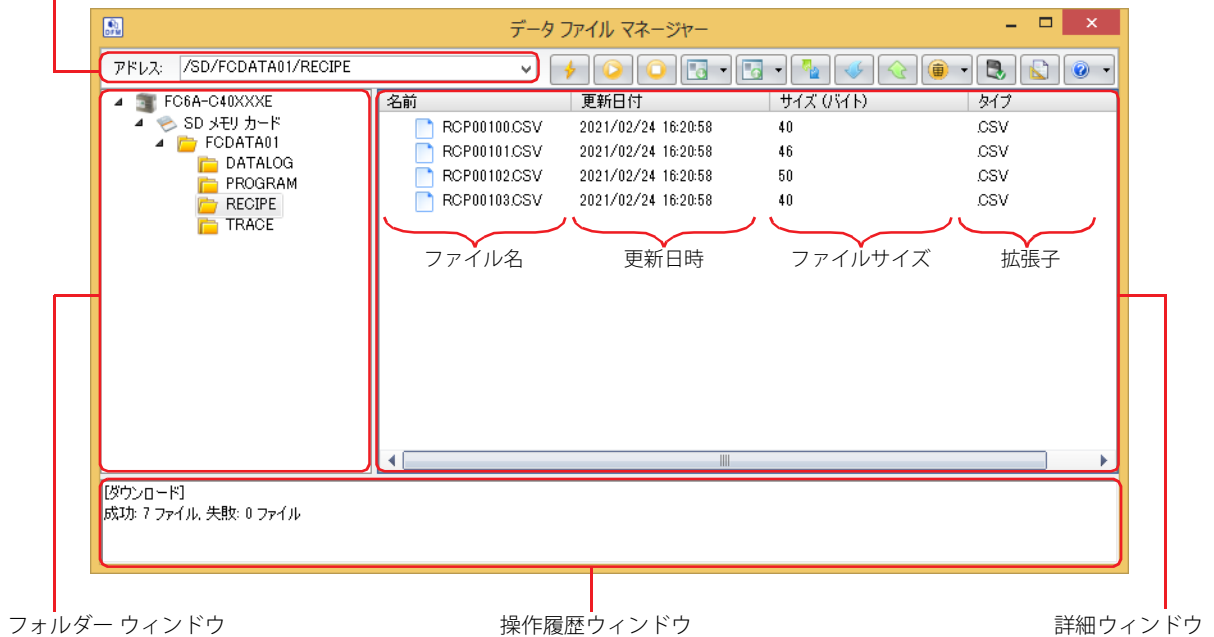
## 3 ファイルやフォルダーの表示と操作

### 3.1 ファイルやフォルダーの表示

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

データ ファイル マネージャーは接続先の機器に挿入したSDメモリカードからファイルとフォルダーの情報を取得<sup>※1</sup>し、フォルダーウィンドウおよび詳細ウィンドウに表示します。

アドレスバー



#### ■ アドレスバー

フォルダーウィンドウで選択している外部メモリのフォルダーパスが表示されます。

選択した通信ポートによって、表示内容が異なります。クリックすると、表示されている内容を編集できます。Enterキーを押して、変更した内容を確定すると、指定した先に移動します。

USB : /外部メモリの種類 (SD) /フォルダーパス  
例) /SD/FCDATA01/

イーサネット : IPアドレス:ポート番号/外部メモリの種類 (SD) /フォルダーパス  
例) 192.168.1.5:2101/SD/FCDATA01/

#### ■ フォルダーウィンドウ

フォルダー構造をツリー表示します。フォルダーをクリックすると、フォルダー内の階層（上位、下位）に移動します。

第1階層（ルート）： 接続している機器をアイコンおよび文字列で表示します。

第2階層： 接続している機器に挿入したSDメモリカードをアイコンおよび文字列で表示します。

第3階層以下： SDメモリカード内のフォルダーをツリーで表示します。

※1 FT1A形は運転を停止中のみ

### ■ 詳細ウィンドウ

フォルダー ウィンドウで選択したフォルダー内のファイルやフォルダーを一覧表示します。フォルダーの追加や削除、名前の変更ができます。



次の機能で読み出したり書き込み中のファイルやフォルダーを操作しないでください。

- ・ レンビ機能
- ・ DLOG命令やTRACE命令のデータ履歴保存機能

- ・ 新しいフォルダーを作成する  
右クリックメニューで [フォルダーの新規作成] をクリックします。
- ・ ファイルやフォルダーの名前を変更する  
ファイルまたはフォルダーを選択し、右クリックメニューで [名前の変更] をクリックするか、または **[F2]** キーを押します。
- ・ ファイルやフォルダーを削除する  
ファイルまたはフォルダーを選択し、右クリックメニューで [削除] をクリックするか、または **[Delete]** キーを押します。

### ■ 操作履歴ウィンドウ

フォルダー ウィンドウや詳細ウィンドウで次の操作を実行すると、操作ログが表示されます。

操作	説明	ログフォーマット
ダウンロード	ダウンロードに成功、失敗したファイル数が表示されます。 操作方法については、2-9ページ「3.2 ファイルやフォルダーをダウンロードする」を参照してください。	[ダウンロード] 成功: ### ファイル, 失敗: ### ファイル
アップロード	アップロードに成功、失敗したファイル数が表示されます。 操作方法については、2-11ページ「3.3 ファイルやフォルダーをアップロードする」を参照してください。	[アップロード] 成功: ### ファイル, 失敗: ### ファイル
削除	削除に成功、失敗したファイル数が表示されます。 操作方法については、「ファイルやフォルダーを削除する」を参照してください。	[削除] 成功: ### ファイル, 失敗: ### ファイル

### : ファイルの数

## 3.2 ファイルやフォルダーをダウンロードする

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

パソコンに保存しているファイルやフォルダーを接続先の機器に挿入したSDメモリカードに書き込みます。



次の機能で読み出しまたは書き込み中のフォルダーにダウンロードしないでください。

- ・ レシピ機能
- ・ DLOG命令やTRACE命令のデータ履歴保存機能

### ● ファイルをダウンロードする

- 1 フォルダーウィンドウでダウンロード先のフォルダーを選択します。



- 2 ツールバーの (ダウンロード) の右の▼をクリックし、[ファイルをダウンロード] をクリックします。  
[開く] ダイアログボックスが表示されます。
- 3 ダウンロードするファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックします。  
ダウンロードを開始します。  
ダウンロード先に同じ名前のファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。
  - ・ [OK] ボタンをクリックすると、ファイルのダウンロードを開始します。
  - ・ [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルのダウンロードを中止します。

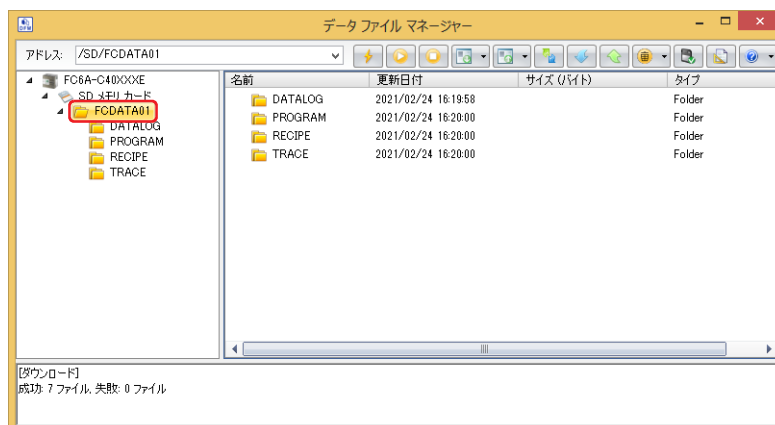
これでファイルのダウンロードは完了です。




パソコンのエクスプローラーでファイルを選択し、詳細ウィンドウにドラッグ&ドロップすることで、選択したファイルを接続先の機器に挿入したSDメモリカードにダウンロードできます。

## ● フォルダをダウンロードする

1 フォルダ ウィンドウでダウンロード先のフォルダを選択します。



2 ツールバーの  (ダウンロード) の右の▼をクリックし、[フォルダをダウンロード] をクリックします。  
[フォルダの参照] ダイアログボックスが表示されます。

3 ダウンロードするフォルダを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

ダウンロードを開始します。

ダウンロード先に同じ名前のフォルダが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。

- [OK] ボタンをクリックすると、フォルダのダウンロードを開始します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、フォルダのダウンロードを中止します。

これでフォルダのダウンロードは完了です。



パソコンのエクスプローラーでフォルダを選択し、詳細ウィンドウにドラッグ&ドロップすることで、選択したフォルダを接続先の機器に挿入したSDメモリカードにダウンロードできます。

### 3.3 ファイルやフォルダーをアップロードする

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

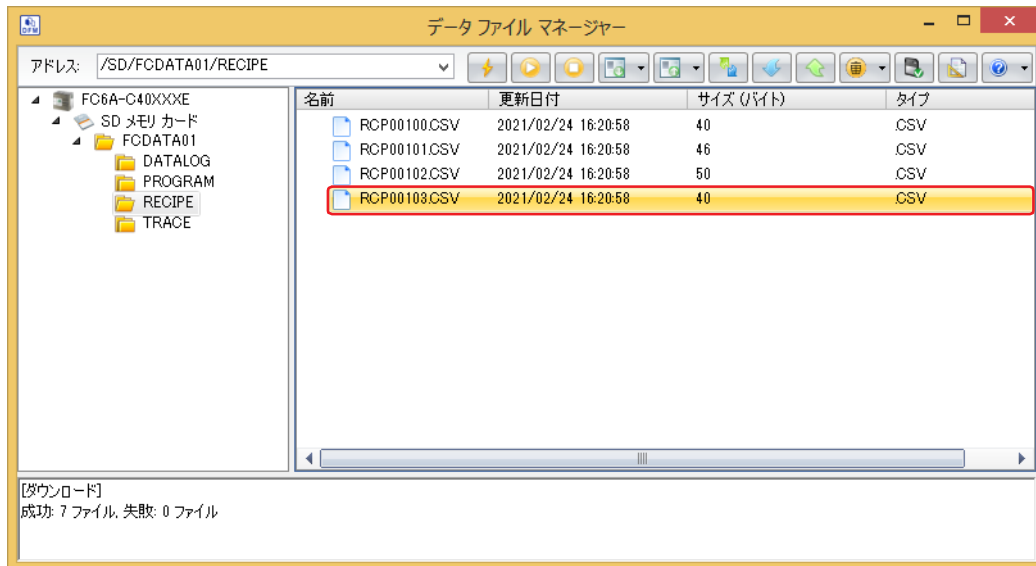
詳細ウィンドウに表示されているファイルやフォルダーをパソコンに保存します。




次の機能で読み出しましたは書き込み中のファイルやフォルダーをアップロードしないでください。

- レシピ機能
- DLOG命令やTRACE命令のデータ履歴保存機能

- 1 詳細ウィンドウでアップロードするファイルやフォルダーを選択します。



- 2 ツールバーの  (アップロード) の右の▼をクリックし、[ファイル/フォルダーのアップロード] をクリックします。  
[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。

- 3 保存先を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

アップロードを開始します。

アップロード先に同じ名前のファイルやフォルダーが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。

- [OK] ボタンをクリックすると、ファイルやフォルダーのアップロードを開始します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルやフォルダーのアップロードを中止します。

これで、ファイルやフォルダーのアップロードは完了です。



詳細ウィンドウでファイルやフォルダーを選択し、パソコンのエクスプローラーにドラッグ&ドロップすることで、選択したファイルやフォルダーをアップロードできます。


## 4 PLCの運転状態を変更する

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

### 4.1 スタート操作

---

データ ファイル マネージャーの操作によって、PLC の運転状態を「停止中」から「運転中」に変更します。


- 1 ツールバーの (スタート) をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
- 2 [はい] ボタンをクリックします。

これでPLCの運転を開始する操作は完了です。

### 4.2 ストップ操作

---

データ ファイル マネージャーの操作によって、PLC の運転状態を「運転中」から「停止中」に変更します。

- 1 ツールバーの (ストップ) をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
- 2 [はい] ボタンをクリックします。

これでPLCの運転を停止する操作は完了です。

## 5 ダウンロード


### 5.1 ZLDプロジェクトファイルをダウンロードする

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

パソコンに保存しているZLDプロジェクトファイル（.zld）を接続先の機器にダウンロードします。



- ZLDプロジェクトファイルをダウンロード中に接続先の機器の電源を切らないでください。
- 次の場合は、接続先の機器の電源を入れ直し、再度ZLDプロジェクトファイルをダウンロードしてください。
  - ZLDプロジェクトファイルのダウンロードに失敗して通信できなくなった
  - データファイルマネージャーと接続先の機器が通信中に、ケーブルが切断されたり、電源が供給されなくなったりして、接続先の機器が応答しなくなった

- 1 ツールバーの（ダウンロード）をクリックします。  
[開く] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 ZLDプロジェクトファイル（.zld）を指定し、[開く] ボタンをクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
- 3 [はい] ボタンをクリックします。  
ダウンロードを開始します。



接続先の機器のPLCプログラムにパスワードプロテクトが設定されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力してください。

これでZLDプロジェクトファイル（.zld）のダウンロードは完了です。



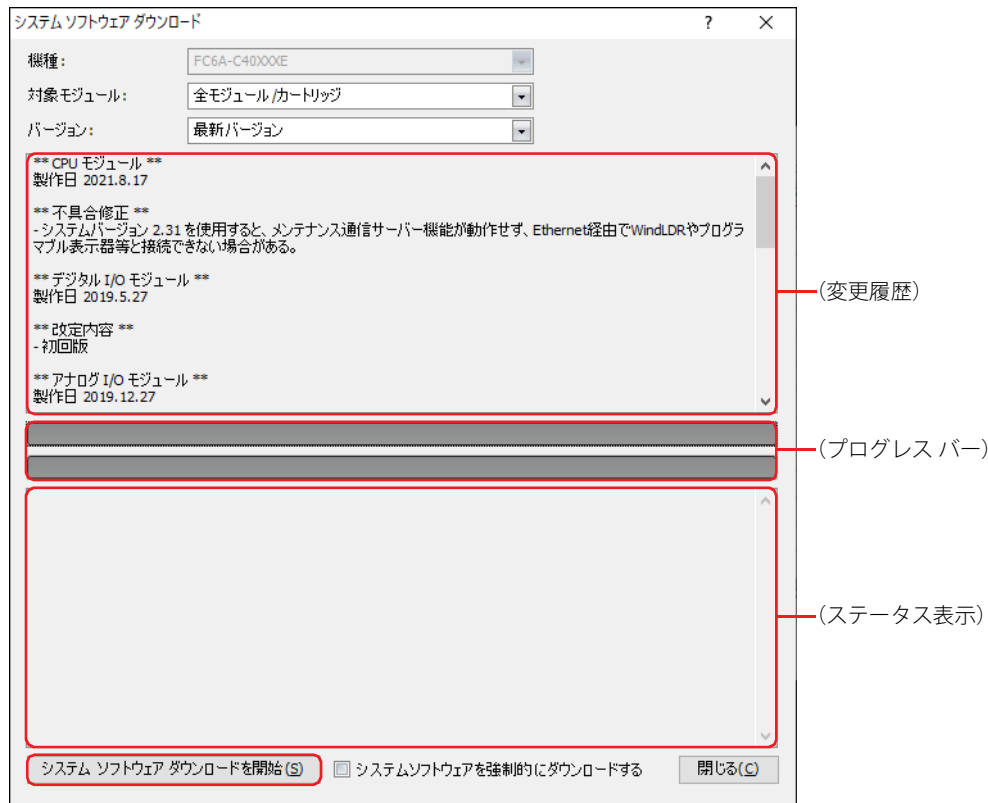
ZLDプロジェクトファイルをダブルクリックしても、ダウンロードできます。詳細は、1-10ページ「第1章 [ダブルクリック動作] タブ」を参照してください。

## 5.2 システム ソフトウェアをダウンロードする

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

PLC のシステム ソフトウェアを書き換えます。

- 1 ツール バーの (ダウンロード) の右の▼をクリックし、[システム ソフトウェアをダウンロード] をクリックします。  
[システム ソフトウェアダウンロード] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 各設定項目を必要に応じて変更し、[システム ソフトウェア ダウンロードの開始] ボタンをクリックします。  
システム ソフトウェアのダウンロードを開始します。  
例) FC6A-C40XXE



### ■ 機種

データ ファイル マネージャーと接続中のPLCの機種が表示されます。

### ■ 対象モジュール<sup>※1</sup>

システム ソフトウェアをダウンロードするモジュールを次の中から選択します。

“全モジュール/カートリッジ”、“CPUモジュール”、“アナログI/Oモジュール”、“温調モジュール”、“HMIモジュール”

“通信モジュール”、“増設拡張モジュール分離型マスター<sup>※2</sup>”、“増設拡張モジュール分離型スレーブ<sup>※2</sup>”、“Bluetooth通信カートリッジ”

### ■ バージョン

システム ソフトウェアのバージョンを“最新バージョン”または“個別指定”から選択します。“個別指定”を選択した場合は、モジュールごとにダウンロードするバージョンを指定します。

※1 FC6A形のみ

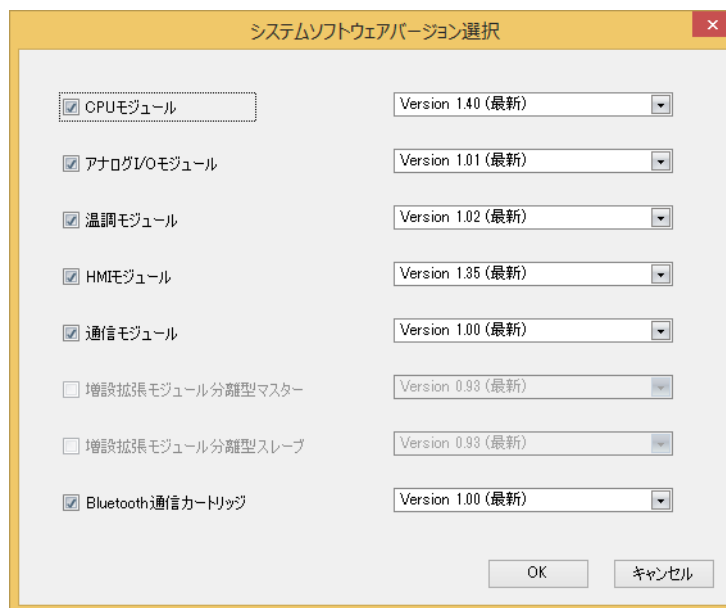
※2 FC6A-D16XXCEE、FC6A-D32XXCEEのみ



### ■ [設定] ボタン※1

システムソフトウェアをダウンロードするモジュールとシステムソフトウェアのバージョンを指定します。このボタンをクリックすると、[システムソフトウェアバージョン選択] ダイアログボックスが表示されます。[バージョン] で“個別設定”を選択した場合のみ表示されます。

[システムソフトウェアバージョン選択] ダイアログボックスでシステムソフトウェアをダウンロードするモジュールのチェックボックスをオンにし、各モジュールのシステムソフトウェアのバージョンを選択して、[OK] ボタンをクリックします。



### ■ 通信速度※2

ダウンロード時の通信速度を選択します。

### ■ (変更履歴)

[対象モジュール※1] で選択したモジュールのシステムソフトウェアに関する変更履歴が表示されます。

### ■ (プログレスバー)

システムソフトウェアダウンロードの進行状況が表示されます。

### ■ (ステータス表示) ※1

対象モジュールごとにシステムソフトウェアのダウンロードの実行結果が表示されます。アナログモジュールおよび温度制御モジュールは、スロット位置および機種も表示されます。

### ■ システムソフトウェアを強制的にダウンロードする※1

接続先の機器のシステムソフトウェアのバージョンに関わらず、システムソフトウェアを強制的にダウンロードする場合は、このチェックボックスをオンにします。通常は使用しないでください。



- PLCが運転中の場合、システムソフトウェアのダウンロードを開始すると、PLCを自動的に停止します。
- ダウンロードに必要な時間は、約1分です。

## 3 ダウンロードを完了すると、完了メッセージが表示されます。

[OK] ボタンをクリックすると、[システムソフトウェアダウンロード] ダイアログボックスを閉じます。



- システムソフトウェアをダウンロード後、PLCは停止中になります。データファイルマネージャーやWindLDRによる操作、PLCの機能スイッチによる操作、HMIモジュールのLCD操作などでPLCの運転を開始してください。
- システムソフトウェアのダウンロード後もユーザープログラムはそのまま残ります。システムソフトウェアのバージョンを下げた場合、PLCに入っているユーザープログラムを実行できない可能性があります。
- システムソフトウェアのダウンロードが失敗した場合、再度システムソフトウェアをダウンロードしてください。
- Bluetooth通信の場合は、システムソフトウェアのダウンロードは行えません。

※1 FC6A形のみ


※2 FC5A形、FC4A形のみ

## 6 アップロード

### 6.1 ZLDプロジェクトファイルをアップロードする

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

接続先のPLC内のプログラムを読み出して、ZLDプロジェクトファイル（.zld）としてパソコンに保存します。

- 1 ツールバーの（アップロード）をクリックします。  
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 保存先とファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。  
アップロードを開始します。  
アップロード先に同じ名前のファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。
  - [OK] ボタンをクリックすると、ファイルのアップロードを開始します。
  - [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルのアップロードを中止します。



接続先の機器のPLCプログラムにパスワードプロテクトが設定されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。パスワードを入力してください。

これでZLDプロジェクトファイル（.zld）のアップロードは完了です。

## 7 デバイスアドレスのデータのダウンロードとアップロード

FC6A FC5A※ FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

※FC5A-D12X1Eのみ使用できます。

### 7.1 デバイスアドレスのデータ

#### ● データの形式

デバイスアドレスのデータは、[デバイスアドレスのデータ設定] ダイアログボックスの [データ数] で指定した数の値になります。

" (デバイスアドレスの値) ",  
 " (デバイスアドレスのアドレス番号+1の値) ",  
 " (デバイスアドレスのアドレス番号+2の値) ",  
 ⋮  
 " (デバイスアドレスのアドレス番号+ (n-1) の値) ",

} データ数 (n)

#### ● デバイスアドレスのデータをテキストエディタで作成する

デバイスアドレスのデータは、メモ帳や市販のテキストエディタ、表計算ソフトなどを使用して作成できます。

#### 1 "デバイスアドレスの値"カンマ (,) 改行の順に、データ数分記述します。

例) データ数が5、値が順に1111, 2222, 3333, 4444, 5555 の場合

```
1111,  
2222,  
3333,  
4444,  
5555,
```

#### 2 拡張子を「.csv」として保存します。

## ● 対応デバイスアドレス

読み出しおよび書き込みできるデバイスアドレスの範囲と最大データ数は、次のとおりです。

### ビットデバイス

デバイス名	FC6A-D16/-D32		FC6A-C16/-C24/-C40/-C40XEJ		FC5A-D12X1E	
	デバイスアドレス	最大データ数	デバイスアドレス	最大データ数	デバイスアドレス	最大データ数
内部リレー	M0～M7997	6400	M0～M7997	6400	M0～M2557	2048
	M10000～M21247	9000	M10000～M17497	6000		
特殊内部リレー	M8000～M9997	1600	M8000～M8317	256	M8000～M8317	256
シフトレジスタ	R0～R255	256	R0～R255	256	R0～R255	256

デバイス名	FT1A-12		FT1A-24/-40/-48	
	デバイスアドレス	最大データ数	デバイスアドレス	最大データ数
内部リレー	M0～M317	256	M0～M1277	1024
特殊内部リレー	M8000～M8177	144	M8000～M8177	144
シフトレジスタ	R0～R127	128	R0～R127	128

### ワードデバイス

デバイス名	FC6A-D16/-D32		FC6A-C16/-C24/-C40/-C40XEJ		FC5A-D12X1E	
	デバイスアドレス	最大データ数	デバイスアドレス	最大データ数	デバイスアドレス	最大データ数
タイマ設定値	TP0～TP1999	2000	TP0～TP1023	1024	TP0～TP255	256
カウンタ設定値	CP0～CP511	512	CP0～CP511	512	CP0～CP255	256
データレジスタ	D0～D7999	8000	D0～D7999	8000	D0～D1999	2000
	D10000～D61999	52000			D2000～D7999	6000
	D70000～D269999	200000			D10000～D49999	40000
特殊データレジスタ	D8000～D8899	900	D8000～D8499	500	D8000～D8499	500

デバイス名	FT1A-12		FT1A-24/-40/-48	
	デバイスアドレス	最大データ数	デバイスアドレス	最大データ数
タイマ設定値	TP0～TP99	100	TP0～TP199	200
カウンタ設定値	CP0～CP99	100	CP0～CP199	200
データレジスタ	D0～D399	400	D0～D999	1000
			D1000～D1999	1000
特殊データレジスタ	D8000～D8199	200	D8000～D8199	200




ビットデバイスをワード単位で扱ったり、ワードデバイスのビットを指定したりすることはできません。

## 7.2 デバイスアドレスのデータをダウンロードする

パソコンに保存しているデバイスアドレスのデータ (.csv) を接続先の機器にダウンロードし、デバイスアドレスに値を書き込みます。



- ・ デバイスアドレスのデータをダウンロード中に接続先の機器の電源を切らないでください。
- ・ 次の場合は、接続先の機器の電源を入れ直し、再度ZLDプロジェクト ファイルをダウンロードしてください。
  - デバイスアドレスのデータのダウンロードに失敗して通信できなくなった
  - データ ファイル マネージャーと接続先の機器が通信中に、ケーブルが切断されたり、電源が供給されなくなったりして、接続先の機器が応答しなくなった

- 1 ツールバーの (デバイス アドレス データ(.csv)のダウンロード) をクリックします。  
[デバイス アドレスのデータ設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 データを書き込むデバイスアドレスを設定し、[OK] ボタンをクリックします。  
[開く] ダイアログボックスが表示されます。

- **デバイスタイプ**  
データを書き込むデバイスアドレスのデバイスタイプを選択します。
- **アドレス番号**  
データを書き込むデバイスアドレスの先頭アドレス番号を指定します。
- **データ数**  
デバイスアドレスに書き込むデータの数を指定します。




接続先の機器で使用できるデバイスアドレスの詳細は、2-18ページ「対応デバイスアドレス」を参照してください。

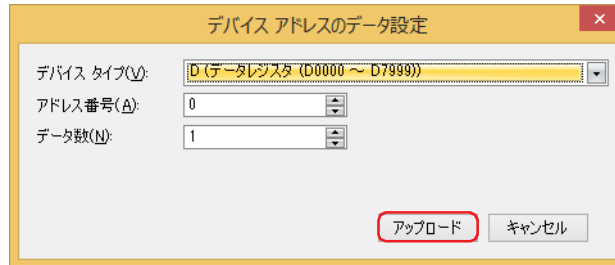
- 3 デバイスアドレスのデータ (.csv) を指定し、[開く] ボタンをクリックします。  
デバイスアドレスのデータのダウンロードを開始します。

これでデバイスアドレスのデータのダウンロードは完了です。

## 7.3 デバイスアドレスのデータを接続先の機器からアップロードする

デバイスアドレスの値を接続先の機器から読み出し、CSV形式のファイルとしてパソコンに保存します。

- 1 ツールバーの  (デバイスアドレスデータ(.csv)のアップロード) をクリックします。  
[デバイスアドレスのデータ設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 データを読み出すデバイスアドレスを設定し、[OK] ボタンをクリックします。  
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。



- **デバイスタイプ**  
データを読み出すデバイスアドレスのデバイスタイプを選択します。
- **アドレス番号**  
データを読み出すデバイスアドレスの先頭アドレス番号を指定します。
- **データ数**  
データを読み出すデバイスアドレスの数を指定します。



接続先の機器で使用できるデバイスアドレスの詳細は、2-18ページ「対応デバイスアドレス」を参照してください。

- 3 ファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。  
デバイスアドレスのデータのアップロードを開始します。


これでデバイスアドレスのデータのアップロードは完了です。

## 8 クリア

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

### 8.1 接続先の機器のデータをクリアする

接続先の機器の内蔵メモリに保存されているデータを消去します。

- 1 ツールバーの (クリア) の右の▼をクリックし、消去するデータのメニューをクリックします。確認メッセージが表示されます。

#### ■ すべてのデバイスアドレスの値をクリア

接続先の機器の内蔵メモリに保存されているデバイスアドレスの値をクリアします。対象となるデバイス タイプは次のとおりです。

入力、出力、内部リレー、シフトレジスタ、データレジスタ、拡張データレジスタ、タイマ現在値、カウンタ現在値

#### ■ エラークリア

接続先の機器の内蔵メモリに保存されているエラー情報をクリアします。



次の特殊データレジスタの値に0を書き込むと、コントロール機能の各エラーをクリアできます。

D8005 : 一般エラー

D8006 : プログラム実行エラー


- 2 [はい] ボタンをクリックします。

これでデータのクリアは完了です。

## 9 SDメモリカードのフォーマット

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

接続先の機器のPLCに挿入したSDメモリカードをフォーマットします。

- 1 ツールバーの (SDメモリカードのフォーマット) をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
- 2 [はい] ボタンをクリックします。  
フォーマットを実行します。

これでSDメモリカードのフォーマットは完了です。



PLCでのフォーマットは、Windowsのクイックフォーマット相当の処理を行います。

---



# 第3章 HMI接続時の使いかた

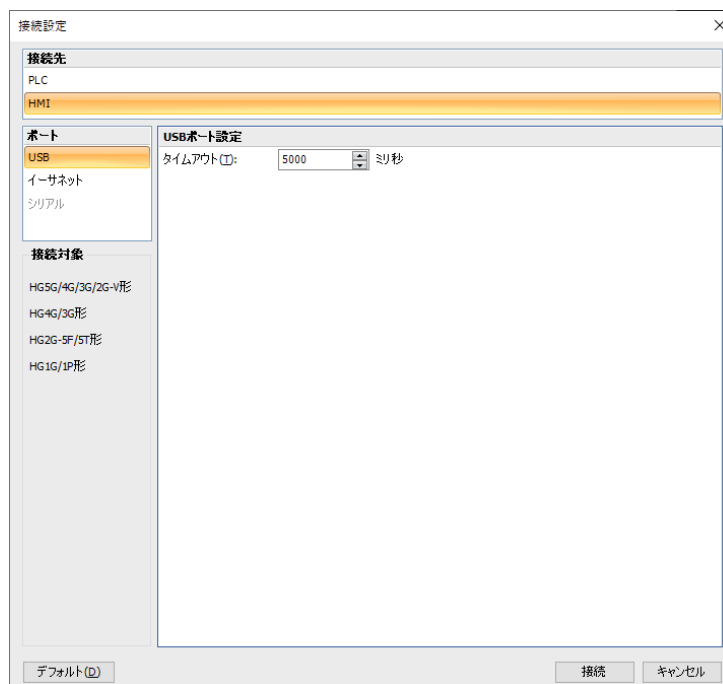
この章では、HMIを接続してデータ ファイル マネージャーを使用する方法について説明します。

## 1 HMIと接続する

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

### 1.1 [接続設定] ダイアログボックス

データ ファイル マネージャーからHMIへの接続方法にあわせて、通信設定を行います。



#### ■ 接続先

接続先の機器を次の中から選択します。

PLC： パソコンとMICROSmart、またはSmartAXIS Pro/Liteを接続します。

HMI： パソコンとSmartAXIS、またはMICRO/Iを接続します。

#### ■ ポート

パソコン側の通信ポートを次の中から選択します。

USB： パソコンのUSBポートと接続先の機器のUSBインターフェイスを接続して通信します。

イーサネット： パソコンのイーサネット ポートと接続先の機器のイーサネット インターフェイスを接続して通信します。

#### ■ 接続対象

[接続先] と [ポート] で設定した内容に応じて、接続可能な機器を表示します。

#### ■ USBポート設定

[ポート] で“USB”を選択した場合のみ設定できます。

タイムアウト： 接続先の機器からの応答待ち時間（5000～32767ミリ秒）を指定します。

## ■ イーサネット ポート設定

[ポート] で“イーサネット”を選択した場合のみ設定できます。

(通信先一覧)： ネットワーク上を検索して見つかった接続先の機器の情報が表示されます。

IPアドレス：	接続先の機器に設定されている現在のIP アドレスが表示されます。
ポート番号：	接続先の機器に設定されている現在のポート番号が表示されます。
形番：	接続先の機器の形番が表示されます。
MACアドレス：	接続先の機器のMACアドレスが表示されます。

[検索] ボタン： (通信先一覧) を更新します。このボタンをクリックすると、応答のあった接続先の機器の情報が追加されます。

[通信先一覧] ボタン： (通信先一覧) の設定を変更します。このボタンをクリックすると、[通信先一覧] ダイアログボックスが表示されます。詳細は、3-3ページ「[通信先一覧] ダイアログボックス」を参照してください。

タイムアウト： 接続先の機器からの応答待ち時間 (0～20分) を指定します。

ネットワーク アダプター： パソコンで使用するネットワーク アダプターを選択します。パソコンで有効になっているネットワーク アダプターのみ表示されます。

## ■ [デフォルト] ボタン

設定した値がデフォルトに戻ります。

## ■ [接続] ボタン

指定した接続先との通信を開始します。



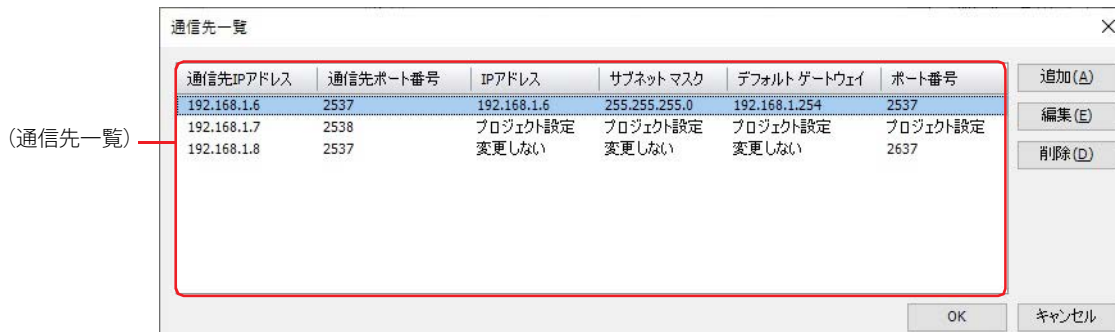
ご使用のパソコンと接続先の機器が同じサブネット内がない場合、VPN が有効になっていると、同じサブネットに参加できるIP アドレスをパソコンに追加する機能を実行できません。

## ● [通信先一覧] ダイアログボックス

接続先の機器のIP設定を一括管理します。また、ZNVプロジェクト ファイルをダウンロード後、ダウンロード先の接続先の機器のIP設定（IPアドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、ポート番号）を変更できます。



ZNVプロジェクトファイル<sup>※1</sup>をダウンロードする場合、ダウンロード後のIP設定を変更できません。



### ■ (通信先一覧)

通信先IPアドレス： 接続先の機器に設定されている現在のIPアドレスが表示されます。

通信先ポート番号： 接続先の機器に設定されている現在のポート番号が表示されます。

IPアドレス： ZNVプロジェクト ファイルをダウンロード後、接続先の機器に設定されるIPアドレスが表示されます。

サブネットマスク： ZNV プロジェクト ファイルをダウンロード後、接続先の機器に設定されるサブネット マスクが表示されます。

デフォルトゲートウェイ： ZNV プロジェクト ファイルをダウンロード後、接続先の機器に設定されるデフォルト ゲートウェイが表示されます。

ポート番号： ZNVプロジェクト ファイルをダウンロード後、接続先の機器に設定されるポート番号が表示されます。

### ■ [追加] ボタン

(通信先一覧) に接続先の機器のIP設定を追加します。このボタンをクリックすると、[通信先IPアドレス設定] ダイアログボックスが表示されます。詳細は、3-4ページ「[通信先IPアドレス設定] ダイアログボックス」を参照してください。

### ■ [編集] ボタン

(通信先一覧) の設定を変更します。(通信先一覧) で接続先の機器を選択し、このボタンをクリックすると、[通信先IPアドレス設定] ダイアログボックスが表示されます。詳細は、3-4ページ「[通信先IPアドレス設定] ダイアログボックス」を参照してください。

### ■ [削除] ボタン

(通信先一覧) から選択した設定を削除します。

※1 FT2J/1J形、HG2J/1J形のみ

[通信先IPアドレス設定] ダイアログボックス

接続先の機器のIP設定を指定します。

通信先IPアドレス設定

通信先IPアドレス(I): 192.168.1.6

通信先ポート番号(N): 2537

ダウンロード後、通信先の設定を変更する

[プロジェクト設定] ダイアログ ボックスの [通信インターフェイス] タブのIP設定を使用する(C)

次の設定を使用する(S):

IPアドレス(A): 192.168.1.9

サブネットマスク(M): 255.255.255.0

デフォルトゲートウェイ(G): 192.168.1.254

ポート番号(P): 2537

チェックボックスがオフの場合、通信先の設定は変更されません。

OK キャンセル

### ■ 通信先IPアドレス

接続先の機器のIPアドレスを指定します。入力形式は“xxx.xxx.xxx.xxx”となります。“xxx”には0から255までの値を入力します。

### ■ 通信先ポート番号

接続先の機器のポート番号を指定します。

### ■ ダウンロード後、通信先の設定を変更する

ZNVプロジェクトファイルをダウンロード後、接続先の機器のIP設定を変更します。設定方法を次から選択します。

[プロジェクト設定] ダイアログ ボックスの [通信インターフェイス] タブのIP設定を使用する：

ダウンロードする ZNV プロジェクト ファイルの [プロジェクト設定] ダイアログボックスの [通信インターフェイス] タブで設定しているIP設定を使用します。

次の設定を使用する： 次のIP設定を使用します。変更する項目のチェックボックスをオンにします。チェックボックスがオフの設定は変更されません。

IPアドレス： ZNVプロジェクトファイルをダウンロード後、接続先の機器に設定するIPアドレスを入力します。

サブネットマスク： ZNVプロジェクトファイルをダウンロード後、接続先の機器に設定するサブネットマスクを入力します。

デフォルトゲートウェイ： ZNVプロジェクトファイルをダウンロード後、接続先の機器に設定するデフォルトゲートウェイを入力します。

ポート番号： ZNVプロジェクトファイルをダウンロード後、接続先の機器に設定するTCPポート番号（1～65535）を入力します。



- ZNXプロジェクト ファイル<sup>※1</sup>をダウンロードする場合、ダウンロード後のIP設定を変更できません。
- ZNVプロジェクト ファイルをダウンロード時に[通信先IPアドレス設定]ダイアログボックスで接続先の機器のIP設定を書き換えても、ZNVプロジェクト ファイルのIP設定は変更されません。
- 接続先の機器がHG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形またはHG1G/1P形の場合、この機能によってポート番号を変更するには、ダウンロードするZNVプロジェクト ファイルに含まれるシステム ソフトウェアのバージョンが4.52以降である必要があります。
- SmartAXISおよびMICRO/IのTCPポート番号については、次の点に注意してください。

使用できない番号：

- 2101：FC4A形MICROSmart 直接バススルー機能用
- 2538：バススルー機能用
- 2539、2541：メンテナンス通信用（データ転送）
- 2540：メンテナンス通信用（コントロール機能）
- 44818：EtherNet/IP 通信用

番号を重複して設定できない機能：

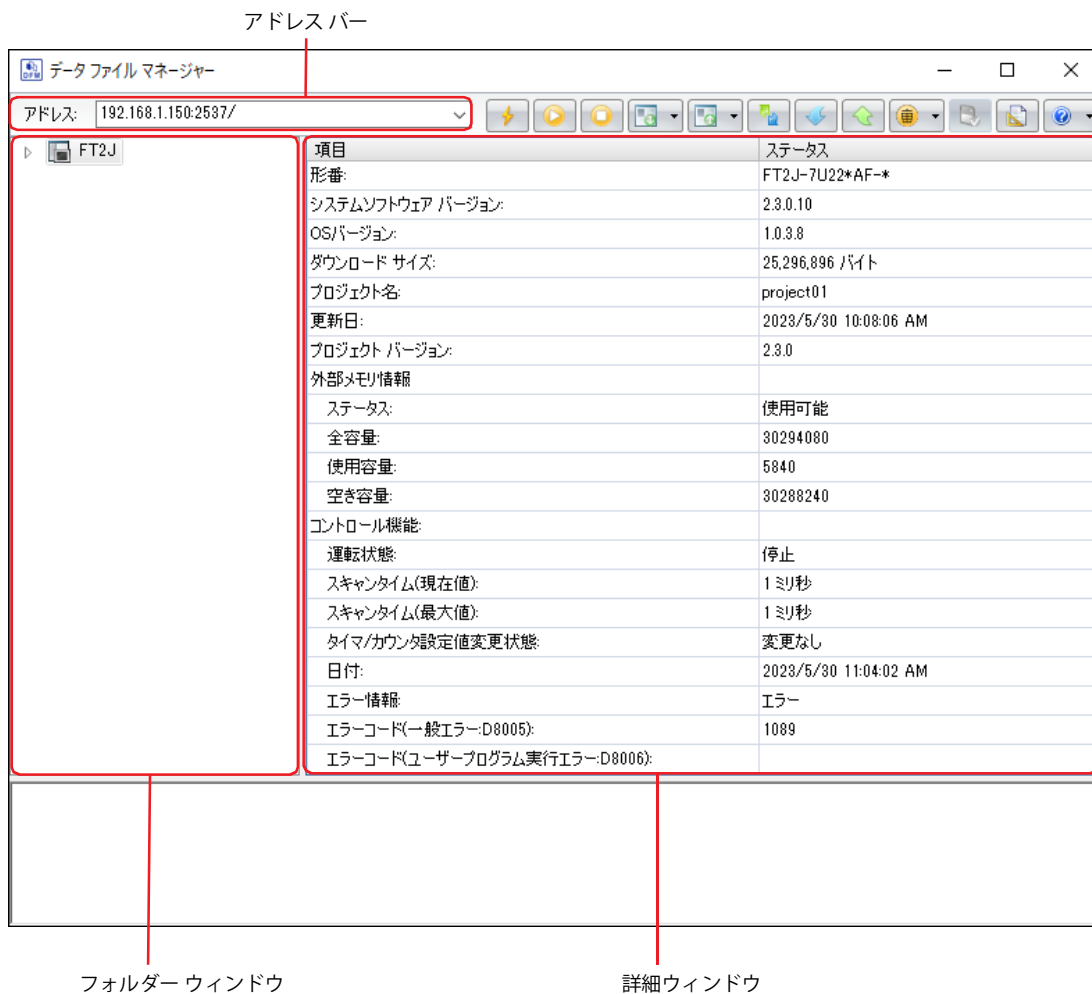
- メンテナンス通信（☞ WindO/I-NV4 ユーザーズ マニュアル）
- Webサーバー機能（☞ WindO/I-NV4 ユーザーズ マニュアル）
- FTPサーバー機能（☞ WindO/I-NV4 ユーザーズ マニュアル）
- ユーザー通信で“TCPサーバー”を選択時  
（☞ WindO/I-NV4 ユーザーズ マニュアル）
- [通信ドライバ] タブで“Modbus”の“Modbus TCP Server”を選択時  
（☞ WindO/I-NV4 接続機器設定マニュアル）

※1 FT2J/1J形、HG2J/1J形のみ

## 2 システム情報とステータスの表示

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

フォルダー ウィンドウで機種名をクリックすると、接続先の機器のシステム情報とステータスが表示されます。



### ■ アドレス バー

選択した通信ポートによって、表示内容が異なります。クリックすると、表示されている内容を編集できます。

USB : / (スラッシュ)  
 イーサネット : IPアドレス:ポート番号  
 例) 192.168.1.6:2537/



アドレスバーに、次の文字は使用できません。

FT2J/1J形、HG2J/1J形 : "# \$ & ' ( ) \* / : ; < > ? ¥ ` | ~  
 連続した2個のピリオド

HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形 : " \* / : < > ? ¥ |

### ■ フォルダー ウィンドウ

接続先の機器の機種名が表示されます。

### ■ 詳細ウィンドウ

接続先の機器のシステム情報とステータスが表示されます。

## 3 ファイルやフォルダーの表示と操作

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

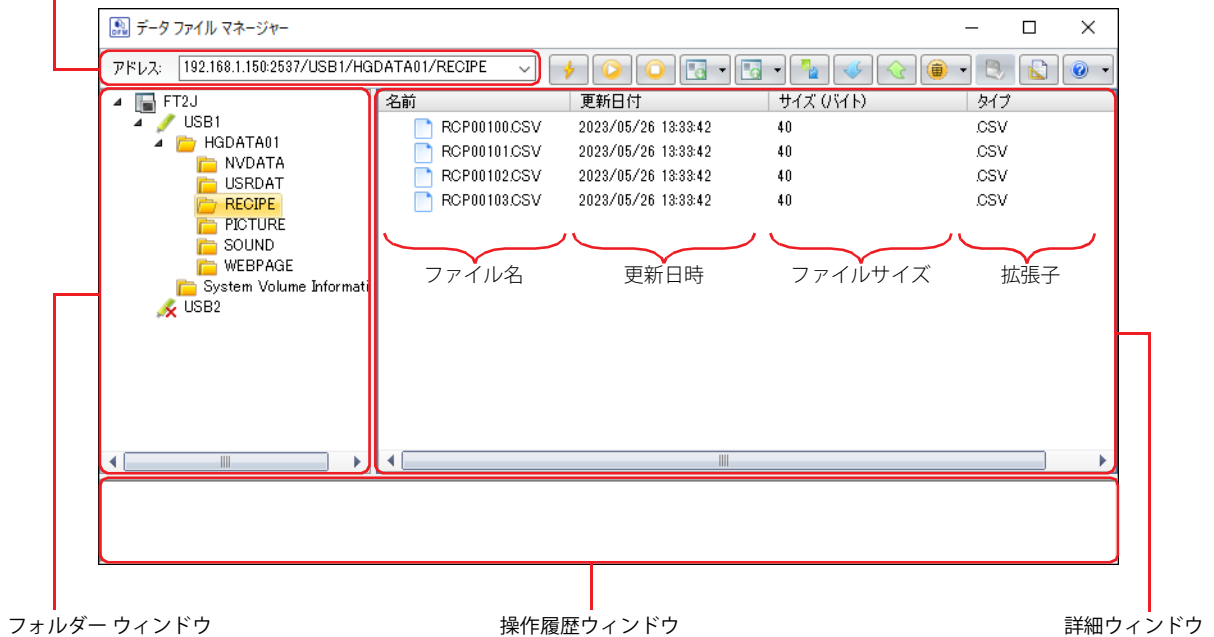
### 3.1 ファイルやフォルダーの表示

データ ファイル マネージャーは接続先の機器に挿入した外部メモリ<sup>※1</sup>からファイルとフォルダーの情報を取得し、フォルダーウィンドウおよび詳細ウィンドウに表示します。



接続先の機器がHG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形またはHG1G/1P形の場合、ファイルやフォルダーを表示するには、システムソフトウェアのバージョンが4.50以降である必要があります。

アドレスバー



#### ■ アドレスバー

フォルダー ウィンドウで選択している外部メモリのフォルダーパスが表示されます。

選択した機種および通信ポートによって、表示内容が異なります。クリックすると、表示されている内容を編集できます。Enter キーを押して、変更した内容を確定すると、指定した先に移動します。

機種	通信ポート	表示内容
FT2J/1J形、HG2J/1J形	イーサネット	IPアドレス:ポート番号/外部メモリの種類 (USB1、USB2) /フォルダーパス 例) 外部メモリがUSB1に挿入したUSBメモリ、フォルダーパスがHGDATA01/ALARMLOGの場合 192.168.1.6:2537/USB1/HGDATA01/ALARMLOG
HG5G/4G/3G/2G-V形、 HG4G/3G形、 HG2G-5F/-5T形、 HG1G/1P形	USB	/外部メモリの種類 (SD、USB) /フォルダーパス 例) 外部メモリがSDメモリカード、フォルダー名がHGDATA01の場合 /SD/HGDATA01/
	イーサネット	IPアドレス:ポート番号/外部メモリの種類 (SD、USB) /フォルダーパス 例) 外部メモリがUSBメモリ、フォルダーパスがHGDATA01/ALARMLOGの場合 192.168.1.6:2537/USB/HGDATA01/ALARMLOG



アドレスバーに、次の文字は使用できません。

FT2J/1J形、HG2J/1J形: "#\$&'()\*+/:;<>?¥`|~  
連続した2個のピリオド

HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形: "\*/:<>?¥|

※1 HG2G-5T形、HG1G/1P形はUSBメモリのみ

## ■ フォルダー ウィンドウ

フォルダー構造をツリー表示します。フォルダーをクリックすると、フォルダー内の階層（上位、下位）に移動します。

第1階層（ルート）： 接続している機器をアイコンおよび文字列で表示します。

第2階層： 接続している機器に挿入した外部メモリをアイコンおよび文字列で表示します。外部メモリが挿入されていない場合、赤い × 印のついたアイコンになります。

第3階層以下： 外部メモリ内のフォルダーをツリーで表示します。

## ■ 詳細ウィンドウ

フォルダー ウィンドウで選択したフォルダー内のファイルやフォルダーを一覧表示します。

フォルダーの追加や削除、名前の変更ができます。



次の機能で読み出しまは書き込み中のファイルやフォルダーを操作しないでください。

- ・レシピ機能
- ・アラーム履歴機能
- ・データ履歴機能
- ・操作履歴機能
- ・サウンド機能
- ・マルチメディア機能

・新しいフォルダーを作成する

右クリックメニューで「フォルダーの新規作成」をクリックします。

・ファイルやフォルダーの名前を変更する

ファイルまたはフォルダーを選択し、右クリックメニューで「名前の変更」をクリックするか、または **[F2]** キーを押します。

・ファイルやフォルダーを削除する

ファイルまたはフォルダーを選択し、右クリックメニューで「削除」をクリックするか、または **[Delete]** キーを押します。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、「パスワードの確認」ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

## ■ 操作履歴ウィンドウ

フォルダー ウィンドウや詳細ウィンドウで次の操作を実行すると、操作ログが表示されます。

操作	説明	ログフォーマット
ダウンロード	ダウンロードに成功、失敗したファイル数が表示されます。 操作方法については、3-9ページ「3.2 ファイルやフォルダーをダウンロードする」を参照してください。	[ダウンロード] 成功: ### ファイル, 失敗: ### ファイル
アップロード	アップロードに成功、失敗したファイル数が表示されます。 操作方法については、3-11ページ「3.3 ファイルやフォルダーをアップロードする」を参照してください。	[アップロード] 成功: ### ファイル, 失敗: ### ファイル
削除	削除に成功、失敗したファイル数が表示されます。 操作方法については、「ファイルやフォルダーを削除する」を参照してください。	[削除] 成功: ### ファイル, 失敗: ### ファイル

### : ファイルの数



## 3.2 ファイルやフォルダーをダウンロードする

パソコンに保存しているファイルやフォルダーを接続先の機器に挿入した外部メモリに書き込みます。

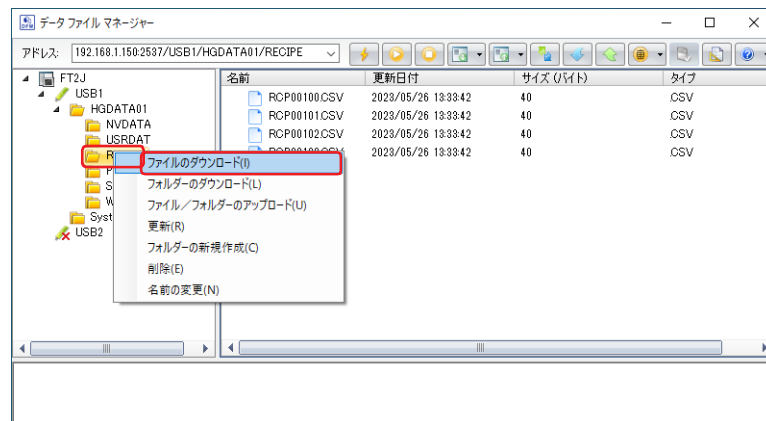


次の機能で読み出しましたは書き込み中のフォルダーにダウンロードしないでください。

- レシビ機能
- アラーム履歴機能
- データ履歴機能
- 操作履歴機能
- サウンド機能
- マルチメディア機能

### ● ファイルをダウンロードする

- 1 フォルダー ウィンドウでダウンロード先のフォルダーを右クリックし、[ファイルのダウンロード] をクリックします。  
[開く] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 ダウンロードするファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックします。

ダウンロードを開始します。

ダウンロード先に同じ名前のファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。

- [OK] ボタンをクリックすると、ファイルのダウンロードを開始します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルのダウンロードを中止します。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

ファイル名が半角英数字および記号のみのファイルに対応しています。ただし、次の文字を含む名前のファイルは、外部メモリにダウンロードできません。

FT2J/1J形、HG2J/1J形： " # \$ & ' ( ) \* / : ; < > ? ¥ ` | ~  
連続した2個のピリオド

HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形： " \* / : < > ? ¥ |

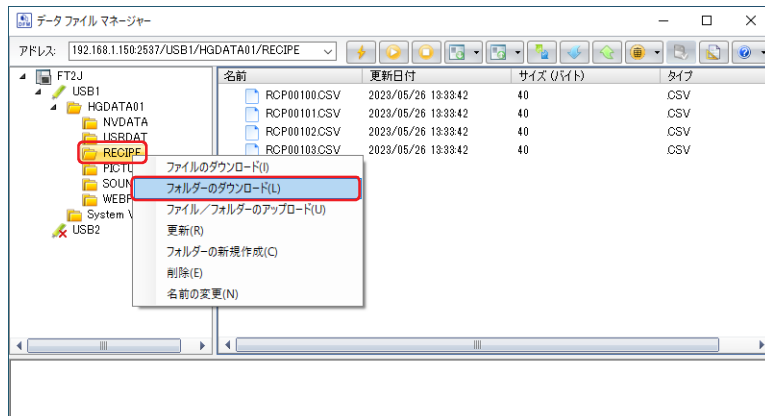
これでファイルのダウンロードは完了です。



パソコンのエクスプローラーでファイルを選択し、詳細ウィンドウにドラッグ&ドロップすることで、選択したファイルを接続先の機器に挿入した外部メモリにダウンロードできます。

## ● フォルダーをダウンロードする

- 1 フォルダー ウィンドウでダウンロード先のフォルダーを右クリックし、[フォルダーのダウンロード] をクリックします。  
[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 ダウンロードするフォルダーを選択し、[OK] ボタンをクリックします。

ダウンロードを開始します。

ダウンロード先に同じ名前のフォルダーが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。

- [OK] ボタンをクリックすると、フォルダーのダウンロードを開始します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、フォルダーのダウンロードを中止します。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

これでフォルダーのダウンロードは完了です。



パソコンのエクスプローラーでフォルダーを選択し、詳細ウィンドウにドラッグ&ドロップすることで、選択したフォルダーを接続先の機器に挿入した外部メモリにダウンロードできます。

### 3.3 ファイルやフォルダーをアップロードする

詳細ウィンドウに表示されているファイルやフォルダーをパソコンに保存します。

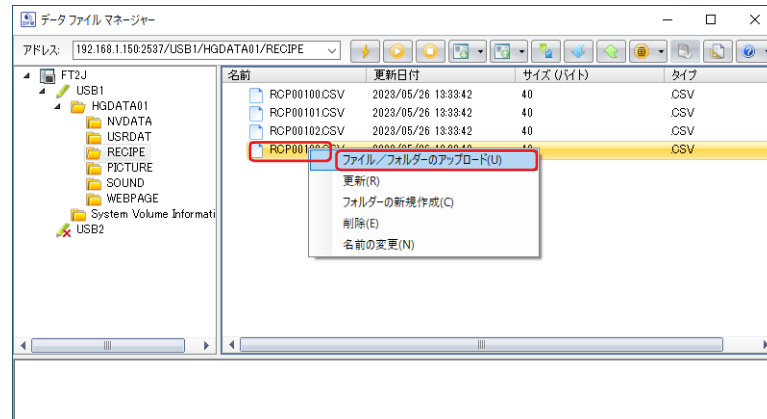


次の機能で読み出しましたまたは書き込み中のファイルやフォルダーをアップロードしないでください。

- レシビ機能
- アラーム履歴機能
- データ履歴機能
- 操作履歴機能
- サウンド機能
- マルチメディア機能

- 1 詳細ウィンドウでアップロードするファイルやフォルダーを右クリックし、[ファイル/フォルダーのアップロード] をクリックします。

[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。



- 2 保存先を選択し、[OK] ボタンをクリックします。

アップロードを開始します。

アップロード先に同じ名前のファイルやフォルダーが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。

- [OK] ボタンをクリックすると、ファイルやフォルダーのアップロードを開始します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、ファイルやフォルダーのアップロードを中止します。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

これで、ファイルやフォルダーのアップロードは完了です。



詳細ウィンドウでファイルやフォルダーを選択し、パソコンのエクスプローラーにドラッグ&ドロップすることで、選択したファイルやフォルダーをアップロードできます。


## 4 ラダープログラムをRUN中またはSTOP中に変更する

FC6A FC5A FC4A FT1A **FT2J/1J** MICRO/I

### 4.1 RUN中にする

---

データ ファイル マネージャーの操作によって、ラダープログラムの状態を「STOP 中」から「RUN 中」に変更します。

- 1 ツールバーの (スタート) をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
- 2 [はい] ボタンをクリックします。

これでラダー プログラムをRUNする操作は完了です。




ラダー プログラムの状態は、特殊内部リレー M8000の値で操作できます。値が1になるとRUN中になります。

---

### 4.2 STOP中にする

---

データ ファイル マネージャーの操作によって、ラダープログラムの状態を「RUN 中」から「STOP 中」に変更します。

- 1 ツールバーの (ストップ) をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
- 2 [はい] ボタンをクリックします。

これでラダー プログラムをSTOPする操作は完了です。



ラダー プログラムの状態は、特殊内部リレー M8000の値で操作できます。値が0になるとSTOP中になります。

---

## 5 ダウンロード


FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

### 5.1 ZNVプロジェクトファイルを接続先の機器へダウンロードする

パソコンに保存しているZNVプロジェクトファイル (.znv) を接続先の機器にダウンロードします。



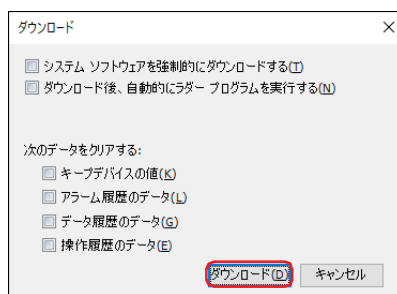
- ZNVプロジェクト ファイルをダウンロード中に接続先の機器の電源を切らないでください。
- 次の場合は、接続先の機器の電源を入れ直し、再度ZNVプロジェクト ファイルをダウンロードしてください。
  - ZNV プロジェクト ファイルのダウンロードに失敗して通信できなくなった
  - データ ファイル マネージャーと接続先の機器が通信中に、ケーブルが切断されたり、電源が供給されなくなったりして、接続先の機器が応答しなくなった

- 1 ツールバーの (ダウンロード) をクリックします。  
[開く] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 ZNVプロジェクト ファイル (.znv) を指定し、[開く] ボタンをクリックします。  
[ダウンロード] ダイアログボックスが表示され、ZNVプロジェクト ファイルのダウンロードを開始します。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

- 3 ダウンロードの内容を確認し、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



- システム ソフトウェアを強制的にダウンロードする  
ZNVプロジェクト ファイルに含まれるシステム ソフトウェアを強制的にダウンロードする場合は、このチェックボックスをオンにします。
- ダウンロード後、自動的にラダー プログラムを実行する<sup>※1</sup>  
ZNVプロジェクト ファイルをダウンロードしたあとに、自動的にラダー プログラムを実行する場合は、このチェックボックスをオンにします。ZNVプロジェクト ファイルのダウンロードが完了すると、特殊内部リレー M8000 の値が1 になります。
- フォントおよび漢字辞書データをダウンロードする<sup>※2</sup>  
ZNVプロジェクト ファイルに含まれるフォントおよび辞書データを MICRO/I にダウンロードする場合は、このチェックボックスをオンにします。

※1 FT2J/1J形のみ

※2 HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形のみ

## • 次のデータをクリアする

ZNVプロジェクト ファイルをダウンロードしたあとにクリアするデータを次の中から選択します。

“キープ デバイス<sup>※3</sup>の値”、“アラーム履歴のデータ”、“データ履歴のデータ”、“操作履歴のデータ”

[システム ソフトウェアを強制的にダウンロードする] チェックボックスがオンの場合、これらチェックボックスもオンになります。



- データ保持領域の設定を変更したZNVプロジェクト ファイルをダウンロードすると、HMI機能およびコントロール機能のキープデバイスの値および履歴データをすべてクリアします。
- アラーム履歴設定、データ履歴設定、操作履歴設定のいずれかを変更したZNVプロジェクト ファイルをダウンロードすると、HMI機能の履歴データはすべて消去されます。



接続先の機器がHG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形またはHG1G/1P形の場合、[フォントおよび漢字辞書データをダウンロードする]、[次のデータをクリアする] のオプションは、ダウンロード対象のZNVプロジェクトファイルに含まれるシステムソフトウェアのバージョン4.63以降で対応しています。

#### 4 [ダウンロード] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

これでZNVプロジェクト ファイルのダウンロードは完了です。



ZNVプロジェクト ファイルをダブルクリックしても、ダウンロードできます。詳細は、1-10ページ「第1章 [ダブルクリック動作] タブ」を参照してください。

※3 コントロール デバイスを含む。ただし、コントロール デバイスはFT2J/1J形のみ

## 5.2 ZNXプロジェクト ファイルを接続先の機器へダウンロードする


FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/※

※HG2J/1J形のみ使用できます。

パソコンに保存しているZNXプロジェクト ファイル (.znx) を接続先の機器にダウンロードします。



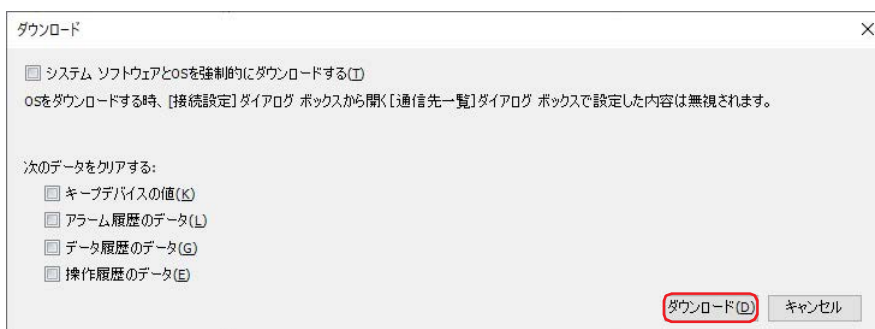
- ZNXプロジェクト ファイルをダウンロード中に接続先の機器の電源を切らないでください。
- 次の場合は、接続先の機器の電源を入れ直し、再度ZNXプロジェクト ファイルをダウンロードしてください。
  - ZNX プロジェクト ファイルのダウンロードに失敗して通信できなくなった
  - データ ファイル マネージャーと接続先の機器が通信中に、ケーブルが切断されたり、電源が供給されなくなったりして、接続先の機器が応答しなくなった

- 1 ツールバーの (ダウンロード) をクリックします。  
[開く] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 ZNXプロジェクト ファイル (.znx) を指定し、[開く] ボタンをクリックします。  
[ダウンロード] ダイアログボックスが表示され、ZNXプロジェクト ファイルのダウンロードを開始します。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

- 3 ダウンロードの内容を確認し、[ダウンロード] ボタンをクリックします。



- システム ソフトウェアとOSを強制的にダウンロードする  
ZNXプロジェクト ファイルに含まれるシステム ソフトウェアおよびOSを強制的にダウンロードする場合は、このチェックボックスをオンにします。
- 次のデータをクリアする  
ZNXプロジェクト ファイルをダウンロードしたあとにクリアするデータを次の中から選択します。  
“キープ デバイス<sup>※1</sup>の値”、“アラーム履歴のデータ”、“データ履歴のデータ”、“操作履歴のデータ”  
[システム ソフトウェアとOSを強制的にダウンロードする] チェックボックスがオンの場合、これらチェックボックスもオンになります。



- データ保持領域の設定を変更したZNXプロジェクト ファイルをダウンロードすると、HMI機能およびコントロール機能のキープデバイスの値および履歴データをすべてクリアします。
- アラーム履歴設定、データ履歴設定、操作履歴設定のいずれかを変更したZNXプロジェクト ファイルをダウンロードすると、HMI機能の履歴データはすべて消去されます。

- 4 [ダウンロード] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

これでZNXプロジェクト ファイルのダウンロードは完了です。



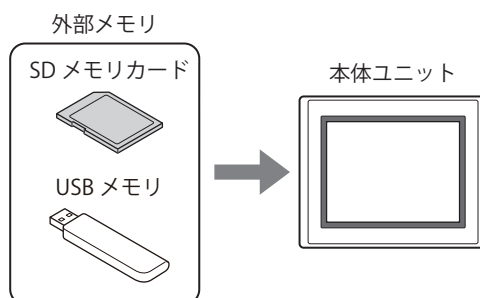
ZNXプロジェクト ファイルをダブルクリックしても、ダウンロードできます。


※1 コントロール デバイスを含む。ただし、コントロール デバイスはFT2J/1J形のみ

## 5.3 ファイルを接続先の機器に挿入した外部メモリへダウンロードする

接続先の機器に挿入している外部メモリ<sup>※1</sup>に、指定したファイルをダウンロードします。ダウンロード先は、運転中のプロジェクトで指定されている外部メモリ フォルダーになります。

- 1 外部メモリを接続先の機器に挿入します。



- 2 ツールバーの  (ダウンロード) の右の▼をクリックし、外部メモリへのファイルのダウンロード方法を選択します。  
[開く] ダイアログボックスが表示されます。

### ■ ファイルを外部メモリへダウンロード

接続先の機器の運転を停止し、接続先の機器に挿入している外部メモリにファイルをダウンロードします。ファイルのダウンロードが完了すると、運転を再開します。

### ■ 運転中にファイルを外部メモリへダウンロード

接続先の機器を停止せずに運転をしたまま、接続先の機器に挿入している外部メモリにファイルをダウンロードします。

- 3 ダウンロードするファイルを指定し、[開く] ボタンをクリックします。  
[ダウンロード] ダイアログボックスが表示され、ファイルのダウンロードを開始します。



• 接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

• ファイル名が半角英数字および記号のみのファイルに対応しています。ただし、次の文字を含む名前のファイルは、外部メモリにダウンロードできません。

FT2J/1J形、HG2J/1J形： "#\$%&'()\*+,-./:;<>?¥`|~  
連続した2個のピリオド

HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形： "\*/:<>?¥|

- 4 [外部メモリ メンテナンス] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

これでファイルのダウンロードは完了です。

※1 FT2J/1J形、HG2J/1J形はUSB1に挿入したUSBメモリ、HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F形はSDメモリカード、HG2G-5T形、HG1G/1P形はUSBメモリ



## 6 アップロード

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

### 6.1 ZNVプロジェクトファイルを接続先の機器からアップロードする

接続先の機器で運転に使用しているプロジェクトを読み出して、ZNVプロジェクトファイル(.znv)としてパソコンに保存します。

#### 1 ツールバーの (アップロード) をクリックします。

[アップロード] ダイアログボックスが表示されます。



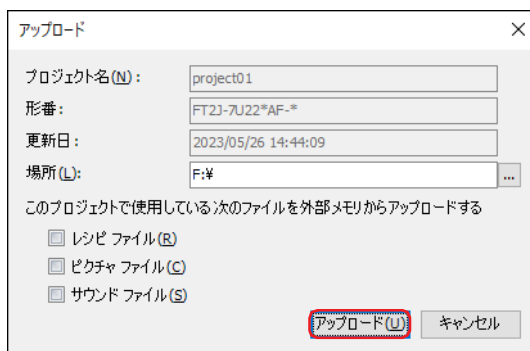
- 接続先の機器がHG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形またはHG1G/1P形の場合、ZNVプロジェクトファイルをアップロードするには、接続先の機器のシステムソフトウェアのバージョンが4.36以降である必要があります。
- ZNVプロジェクトファイル<sup>※1</sup>はアップロードできません。

#### 2 プロジェクトの内容を確認し、[アップロード] ボタンをクリックします。

[アップロード] ダイアログボックスが表示され、ファイルのアップロードを開始します。

アップロード先に同じ名前のファイルが存在する場合は、上書きの確認メッセージが表示されます。

- [はい] ボタンをクリックすると、ZNVプロジェクトファイルのアップロードを開始します。
- [キャンセル] ボタンをクリックすると、ZNVプロジェクトファイルのアップロードを中止します。



アップロード

プロジェクト名(N): project01

形番: FT2J-7J22\*AF-\*

更新日: 2023/05/26 14:44:09

場所(L): F:¥ ...

このプロジェクトで使用している次のファイルを外部メモリからアップロードする

レシビファイル(R)

ピクチャファイル(C)

サウンドファイル(S)

アップロード(U) キャンセル

#### ■ プロジェクト名

アップロードしたZNVプロジェクトファイルを表示されている名前前で保存します。

#### ■ 形番

接続先の機器の形番が表示されます。

#### ■ 更新日

接続先の機器にダウンロードされているプロジェクトを最後に保存した日時が表示されます。

#### ■ 場所

アップロードしたZNVプロジェクトファイルの保存先を指定します。

... ボタンをクリックすると、[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。保存する場所を選択して、[OK] ボタンをクリックします。

#### ■ このプロジェクトで使用している次のファイルを外部メモリからアップロードする

接続先の機器に挿入した外部メモリからプロジェクトで使用しているファイルもアップロードする場合は、アップロードするファイルを次の中から選択します。

“レシビファイル”、“ピクチャファイル”、“サウンドファイル<sup>※2</sup>”



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

※1 FT2J/1J形、HG2J/1J形のみ


※2 FT2J/1J形、HG2J/1J形、HG5G/4G/3G-V形、HG4G/3G形のみ

- 3 [アップロード] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

これでZNVプロジェクト ファイルのアップロードは完了です。

## 6.2 履歴データをアップロードする

接続先の機器の内蔵メモリに保存された履歴データをパソコンに読み出して、CSV形式のファイルとして保存します。

- 1 ツールバーの  (アップロード) の右の▼をクリックし、アップロードするデータのメニューをクリックします。  
[フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。

- **すべての履歴データをアップロード**

アラーム履歴のデータ、データ履歴のデータ、操作履歴のデータをアップロードします。

- **アラーム履歴のデータをアップロード**

アラーム履歴機能で収集したデータをアップロードします。

- **データ履歴のデータをアップロード**

データ履歴機能で収集したデータをアップロードします。

- **操作履歴のデータをアップロード**

操作履歴機能で収集したデータをアップロードします。

- 2 保存する場所を指定し、[OK] ボタンをクリックします。  
[アップロード] ダイアログボックスが表示され、データのアップロードを開始します。




接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。  
ユーザー名とパスワードを入力してください。

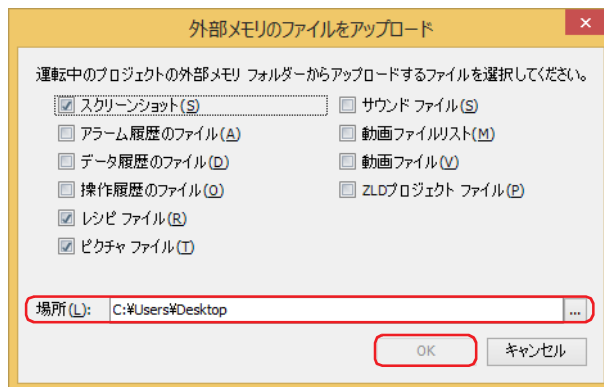
- 3 [アップロード] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

これでデータのアップロードは完了です。

## 6.3 接続先の機器に挿入した外部メモリのファイルをアップロードする

接続先の機器に挿入している外部メモリ<sup>※1</sup>から指定したファイルを読み出してパソコンに保存します。アップロード元は、運転中のプロジェクトで指定されている外部メモリ フォルダになります。

- 1 ツールバーの (アップロード) の右の▼をクリックし、[外部メモリのファイルをアップロード] をクリックします。  
[外部メモリのファイルをアップロード] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 アップロードするファイルのチェックボックスをオンにし、[場所] で保存先のフォルダを指定します。



アップロードできるファイルは、次のとおりです。

- ・スクリーンショット
- ・アラーム履歴のファイル
- ・データ履歴のファイル
- ・操作履歴のファイル
- ・レシピ ファイル
- ・ピクチャ ファイル
- ・サウンド ファイル<sup>※2</sup>
- ・動画ファイル リスト<sup>※3</sup>
- ・動画ファイル<sup>※3</sup>
- ・ZLDプロジェクト ファイル



ボタンをクリックして表示するフォルダの選択ダイアログボックスで、アップロードするファイルの保存先を変更できません。

- 3 [OK] ボタンをクリックします。  
[外部メモリ メンテナンス] ダイアログボックスが表示され、ファイルのアップロードを開始します。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

- 4 [外部メモリ メンテナンス] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

これでファイルのアップロードは完了です。

※1 FT2J/1J形、HG2J/1J形はUSB1に挿入したUSBメモリ、HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F形はSDメモリカード、HG2G-5T形、HG1G/1P形はUSBメモリ

※2 FT2J/1J形、HG2J/1J形、HG5G/4G/3G-V形、HG4G/3G形のみ

※3 ビデオインターフェイス搭載機種のみ

## 7 デバイスアドレスのデータのダウンロードとアップロード

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

### 7.1 デバイスアドレスのデータ

#### ●データの形式

デバイスアドレスのデータは、[デバイスアドレスのデータ設定] ダイアログボックスの [データ数] で指定した数の値になります。

" (デバイスアドレスの値) ",  
 " (デバイスアドレスのアドレス番号+1の値) ",  
 " (デバイスアドレスのアドレス番号+2の値) ",  
 ⋮  
 " (デバイスアドレスのアドレス番号+ (n-1) の値) ",

} データ数 (n)

#### ●デバイスアドレスのデータをテキストエディタで作成する

デバイスアドレスのデータは、メモ帳や市販のテキストエディタ、表計算ソフトなどを使用して作成できます。

##### 1 “デバイスアドレスの値”カンマ (,) 改行の順に、データ数分記述します。

例) データ数が5、値が順に1111, 2222, 3333, 4444, 5555 の場合

1111,  
 2222,  
 3333,  
 4444,  
 5555,

##### 2 拡張子を「.csv」として保存します。

#### ●対応デバイスアドレス

読み出しおよび書き込みできるデバイスアドレスの範囲と最大データ数は、次のとおりです。

##### ビット デバイス

デバイス名	記号	アドレス範囲	最大データ数
シフトレジスタ <sup>※1</sup>	R	000~127	128
内部リレー <sup>※1</sup>	M	0~7997	6400
特殊内部リレー <sup>※1</sup>	M	8000~8177	144

##### ワード デバイス

デバイス名	記号	アドレス範囲	最大データ数
HMIデータレジスタ	LDR	0~16383 <sup>※2</sup> 0~8191 <sup>※3</sup>	16384 <sup>※2</sup> 8192 <sup>※3</sup>
HMIキーブレジスタ	LKR	0~8191	1024~8192
タイマ設定値 <sup>※1</sup>	TP	0~199	200
カウンタ設定値 <sup>※1</sup>	CP	0~199	200
データレジスタ <sup>※1</sup>	D	0~3999	4000
特殊データレジスタ <sup>※1</sup>	D	8000~8199	200



ワードデバイスのビットを指定することはできません。

※1 FT2J/1J形のみ

※2 FT2J/1J形、HG2J/1J形のみ


※3 HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形のみ

## 7.2 デバイスアドレスのデータをダウンロードする

パソコンに保存しているデバイスアドレスのデータ (.csv) を接続先の機器にダウンロードし、デバイスアドレスに値を書き込みます。



- デバイスアドレスのデータをダウンロード中に接続先の機器の電源を切らないでください。
- 次の場合は、接続先の機器の電源を入れ直し、再度ZNVプロジェクト ファイルをダウンロードしてください。
  - デバイスアドレスのデータのダウンロードに失敗して通信できなくなった
  - データ ファイル マネージャーと接続先の機器が通信中に、ケーブルが切断されたり、電源が供給されなくなったりして、接続先の機器が応答しなくなった

- 1 ツールバーの (デバイスアドレスデータ(.csv)のダウンロード) をクリックします。  
[デバイスアドレスのデータ設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 データを書き込むデバイスアドレスを設定し、[OK] ボタンをクリックします。  
[開く] ダイアログボックスが表示されます。

### ■ デバイスタイプ

データを書き込むデバイスアドレスのデバイスタイプを選択します。

### ■ アドレス番号

データを書き込むデバイスアドレスの先頭アドレス番号を指定します。

### ■ データ数

デバイスアドレスに書き込むデータの数を指定します。

### ■ データを書き込み後、接続先の機器をリセットする

デバイスアドレスのデータを書き込んだあと、接続先の機器をリセットする場合は、このチェックボックスをオンにします。



接続先の機器で使用できるデバイスアドレスの詳細は、3-20ページ「対応デバイスアドレス」を参照してください。

- 3 デバイスアドレスのデータ (.csv) を指定し、[開く] ボタンをクリックします。  
[デバイスアドレス データの書き込み] ダイアログボックスが表示され、デバイスアドレスのデータのダウンロードを開始します。




接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。

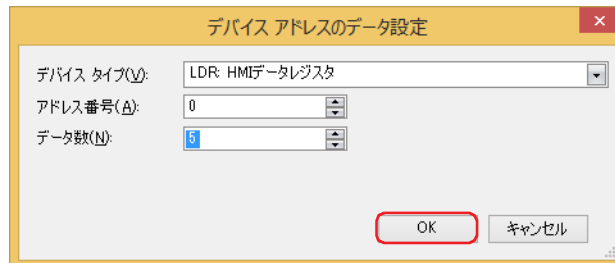
- 4 [デバイスアドレス データの書き込み] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

これでデバイスアドレスのデータのダウンロードは完了です。

## 7.3 デバイスアドレスのデータを接続先の機器からアップロードする

デバイスアドレスの値を接続先の機器から読み出し、CSV形式のファイルとしてパソコンに保存します。

- 1 ツールバーの  (デバイスアドレスデータ(.csv)のアップロード) をクリックします。  
[デバイスアドレスのデータ設定] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 データを読み出すデバイスアドレスを設定し、[OK] ボタンをクリックします。  
[名前を付けて保存] ダイアログボックスが表示されます。



- **デバイスタイプ**  
データを読み出すデバイスアドレスのデバイスタイプを選択します。
- **アドレス番号**  
データを読み出すデバイスアドレスの先頭アドレス番号を指定します。
- **データ数**  
データを読み出すデバイスアドレスの数を指定します。



接続先の機器で使用できるデバイスアドレスの詳細は、3-20ページ「対応デバイスアドレス」を参照してください。

- 3 ファイル名を入力し、[保存] ボタンをクリックします。  
[デバイスアドレスデータの読み出し] ダイアログボックスが表示され、デバイスアドレスのデータのアップロードを開始します。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。  
ユーザー名とパスワードを入力してください。

- 4 [デバイスアドレスデータの読み出し] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。


これでデバイスアドレスのデータのアップロードは完了です。

## 8 クリア

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

### 8.1 接続先の機器のデータをクリアする

接続先の機器の内蔵メモリに保存されているデータを消去します。

- 1 ツールバーの (クリア) の右の▼をクリックし、消去するデータのメニューをクリックします。確認メッセージが表示されます。

- **すべてのデータをクリア**

プロジェクト データおよびアラーム履歴のデータ、データ履歴のデータ、操作履歴のデータを消去します。また、すべてのデバイスアドレスの値をクリアします。

- **アラーム履歴のデータをクリア**

アラーム履歴機能で収集したデータを消去します。

- **データ履歴のデータをクリア**

データ履歴機能で収集したデータを消去します。

- **操作履歴のデータをクリア**

操作履歴機能で収集したデータを消去します。

- **すべてのデバイスアドレスの値をクリア**

すべてのデバイスアドレスの値をクリアします。

- **コントロール デバイスの値をクリア**※1

接続先の機器の内蔵メモリに保存されているコントロール デバイスの値をクリアします。

- **コントロール機能のエラーをクリア**※1

接続先の機器の内蔵メモリに保存されているコントロール機能のエラー情報をクリアします。



次の特殊データレジスタの値に0を書き込むと、コントロール機能の各エラーをクリアできます。

D8005: 一般エラー

D8006: プログラム実行エラー

- **外部メモリのファイルをクリア**

接続先の機器に挿入している外部メモリに保存されているデータをクリアします。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。ユーザー名とパスワードを入力してください。


- 2 [はい] ボタンをクリックします。
- 3 進行状況ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

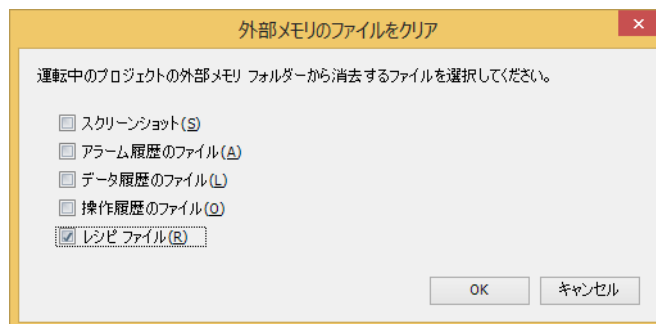
これでデータのクリアは完了です。

※1 FT2J/1J形のみ

## 8.2 接続先の機器に挿入した外部メモリのデータを消去する

接続先の機器の運転を停止したあと、接続先の機器に挿入した外部メモリ<sup>※1</sup>の外部メモリ フォルダに保存されているデータを消去します。

- 1 ツールバーの (クリア) の右の▼をクリックし、[外部メモリのファイルをクリア] をクリックします。  
[外部メモリのファイルをクリア] ダイアログボックスが表示されます。
- 2 外部メモリ フォルダから消去するデータのチェックボックスをオンにします。  
"スクリーンショット"、"アラーム履歴ファイル"、"データ履歴ファイル"、"操作履歴ファイル"、"レシピファイル"



- 3 [OK] ボタンをクリックします。  
確認メッセージが表示されます。
- 4 [はい] ボタンをクリックします。  
[外部メモリ メンテナンス] ダイアログボックスが表示され、外部メモリのファイルの消去を開始します。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。  
ユーザー名とパスワードを入力してください。

- 5 [外部メモリ メンテナンス] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

これで外部メモリのファイルのクリアは完了です。

※1 FT2J/1J形、HG2J/1J形はUSB1に挿入したUSBメモリ、HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F形はSDメモリカード、HG2G-5T形、HG1G/1P形はUSBメモリ




## 9 外部メモリのフォーマット

FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/※

※HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形のみ使用できます。

接続先の機器の運転を停止して、接続先の機器に挿入した外部メモリ<sup>※1</sup>をフォーマットします。

### 9.1 接続先の機器に挿入した外部メモリをフォーマットする

- 1 ツールバーの (外部メモリのフォーマット) をクリックします。  
確認メッセージが表示されます。



接続先の機器のプロジェクトがパスワード保護されている場合は、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。  
ユーザー名とパスワードを入力してください。

- 2 [はい] ボタンをクリックします。  
[外部メモリ メンテナンス] ダイアログボックスが表示され、フォーマットを開始します。
- 3 [外部メモリ メンテナンス] ダイアログボックスで [閉じる] ボタンをクリックします。

これで外部メモリのフォーマットは完了です。

※1 HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F形はSDメモリカード、HG2G-5T形、HG1G/1P形はUSBメモリ



# 第4章 コマンドライン

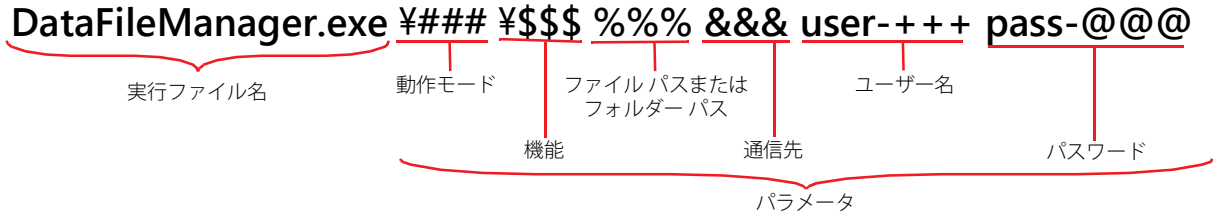
この章では、データ ファイル マネージャーの機能をコマンドラインで実行する方法について説明します。

## 1 コマンドライン

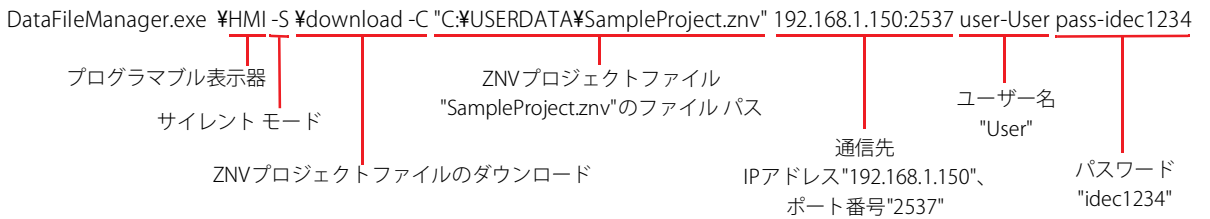
FC6A FC5A FC4A FT1A FT2J/1J MICRO/I

### 1.1 記述形式

コマンドラインで各機能を実行するには、データ ファイル マネージャーの実行ファイル名と各機能に対応したパラメータを記述します。記述形式は次のとおりです。



例) パスワードを設定したプロジェクトがダウンロードされているプログラマブル表示器に、サイレントモードでZNVプロジェクトファイルをイーサネット経由でダウンロードする。



- ・パラメータとパラメータの間には、半角スペースが必要です。
- ・パラメータにオプションを指定する場合は、半角スペースが必要です。
- ・パラメータのユーザー名は、動作モードが¥HMI、¥normal、¥HMI-S、¥silentの場合のみ必要です。

### 1.2 パラメータの詳細

#### ● 動作モード (必須)

動作モードを指定します。対応しているパラメータは、接続先の機器によって異なります。

○：対応、×：非対応

パラメータ	種類	説明	PLC	HMI
¥PLC	通常モード	データ ファイル マネージャーのメイン ウィンドウを表示せずに、各機能のダイアログボックスやメッセージだけを表示して、各機能を実行します。	○	×
¥PLC    -S	サイレントモード	データ ファイル マネージャーのメイン ウィンドウおよび各機能のダイアログボックスやメッセージを表示せずに、各機能を実行します。	○	×
¥HMI	通常モード	データ ファイル マネージャーのメイン ウィンドウを表示せずに、各機能のダイアログボックスやメッセージだけを表示して、各機能を実行します。	×	○
¥normal				
¥HMI    -S	サイレントモード	データ ファイル マネージャーのメイン ウィンドウおよび各機能のダイアログボックスやメッセージを表示せずに、各機能を実行します。	×	○
¥silent				

## ● 機能 (必須)

実行する機能を指定します。対応しているパラメータは、接続先の機器によって異なります。

## ■ ダウンロード



- ・ ZNXプロジェクト ファイルは、FT2J/1J形およびHG2J/1J形のみ対応しています。
- ・ 指定したパラメータに関わらず、条件によっては、次の処理になりますのでご注意ください。
  - ZNVプロジェクト ファイルまたはZNXプロジェクト ファイルに含まれるシステム ソフトウェアやOS<sup>※1</sup>のバージョンが、接続先の機器のバージョンと一致しない場合は、プロジェクト データとともにシステム ソフトウェアやOS<sup>※1</sup>を強制的にダウンロードします。
  - アラーム履歴やデータ履歴、操作履歴の設定がダウンロード先とZNVプロジェクト ファイルまたはZNXプロジェクト ファイルで一致しない場合、すべての履歴データをクリアします。
  - データ保持領域の設定がダウンロード先とZNVプロジェクト ファイルまたはZNXプロジェクト ファイルで一致しない場合、キーボードデバイスおよびすべての履歴データをクリアします。

## プロジェクトを内蔵メモリへダウンロードする

○：対応、×：非対応

パラメータ		説明	PLC	HMI	
¥download	-C	ZLDプロジェクト ファイルをダウンロードします。	○	×	
		ZNVプロジェクト ファイルまたはZNXプロジェクト ファイルをダウンロードします。 -CRおよび-CFと同時に指定できません。	×	○	
	-CR	(引数なし)	システムソフトウェアやOS <sup>※1</sup> をダウンロードせずに、ZNVプロジェクト ファイルまたはZNXプロジェクト ファイルをダウンロードします。ただし、ZNVプロジェクト ファイルまたはZNXプロジェクト ファイルに含まれるシステムソフトウェアやOSのバージョンが、接続先の機器のバージョンと一致しなかった場合は、-Cと同じ処理になります。	×	○
		-CK	キーボードデバイスをクリアせずに、(引数なし)と同じ処理を実行します。	×	○ <sup>※2</sup>
		-CA	アラーム履歴のデータをクリアせずに、(引数なし)と同じ処理を実行します。	×	○
		-CL	データ履歴のデータをクリアせずに、(引数なし)と同じ処理を実行します。	×	○
	-COP	操作履歴のデータをクリアせずに、(引数なし)と同じ処理を実行します。	×	○	
-CF	フォントおよび漢字辞書データをダウンロードせずに、ZNVプロジェクト ファイルをダウンロードします。	×	○		



接続先の機器がHG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形またはHG1G/1P形の場合、次のパラメータを使うには、対応したバージョンのシステムソフトウェアが必要です。ダウンロードするZNVプロジェクトファイルに含まれるシステムソフトウェアのバージョンを確認してください。

-CR、-CF、-CK: 4.55以降

-CA、-CL、-COP: 4.63以降

実行結果に関する注意については、3-13ページ「第3章 5.1 ZNVプロジェクトファイルを接続先の機器へダウンロードする」を参照してください。



ZNVプロジェクトファイルのダウンロードでは、複数のパラメータを指定してダウンロードできます。

例) 次の条件でUSBポートからZNVプロジェクトファイルをダウンロードする場合

- ・ システムソフトウェアやOSをダウンロードしない (-CR)
- ・ フォントおよび漢字辞書データをダウンロードしない (-CF)
- ・ キーボードデバイスをクリアしない (-CK)

DataFileManager.exe ¥HMI ¥download -CR -CF -CK USB

※1 ZNXプロジェクトファイルのみ

※2 HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形のみ

## ファイルを外部メモリへダウンロードする

○：対応、×：非対応

パラメータ	説明	PLC	HMI
¥cf_download	-R	×	○
	-C	×	○
	-W	×	○
	-LD	×	○
	-A	×	○
	-M	×	○



- 接続先がHMIの場合、外部メモリは、FT2J/1J形、HG2J/1J形はUSB1に挿入したUSBメモリ、HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F形はSDメモリカード、HG2G-5T形、HG1G/1P形はUSBメモリになります。
- 接続先がHMIの場合、ファイル名が半角英数字および記号のみのファイルに対応しています。ただし、次の文字を含む名前のファイルは、外部メモリにダウンロードできません。

FT2J/1J形、HG2J/1J形： "#\$&'()\*+,-./:;<>?¥`|~  
連続した2個のピリオド

HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形： "\*/:;<>?¥|

## 運転中にファイルを外部メモリへダウンロードする

○：対応、×：非対応

パラメータ	説明	PLC	HMI	
-U	レシピ ファイルをダウンロードします。	○	○	
-T	ピクチャ ファイルをダウンロードします。	×	○	
-X	サウンド ファイルをダウンロードします。	×	○	
-LR	ZLDプロジェクト ファイルをダウンロードします。	○	○	
-Y	動画ファイル リストをダウンロードします。	×	○	
-G	動画ファイルをダウンロードします。	×	○	
¥cf_download	-PF	PLC： FCDATA01 フォルダにmqtt_basic_settings.iniファイルまたはserver_tls.ini ファイルをダウンロードします。 このオプションで、autoexec.iniファイルをダウンロードできます。詳細は、 FC6A形マイクロスマート ユーザーズ マニュアル「第11章 SDメモリカード」 を参照してください。  HMI： 外部メモリ フォルダにmqtt_basic_settings.iniファイルまたはserver_tls.ini ファイルをダウンロードします。詳細は、WindO/I-NV4ユーザーズマニュアル 「第33章 外部メモリ」を参照してください。	○	○※1
	-MRC	TLSフォルダにMQTT通信で使用するサーバー証明書のルート証明書をダウンロード します。 このオプションは、pem形式またはder形式のファイルに対応しています。データ ファイル マネージャーは、pem形式のファイルをder形式に変換してダウンロードし ます。2Kバイトより大きいサイズのder形式のファイルは、ダウンロードできません。 ダウンロード後のファイル名は、"mqtt_root_certificate.der"になります。	○	○※1
	-MCC	TLSフォルダにクライアント証明書をダウンロードします。 このオプションは、pem形式またはder形式のファイルに対応しています。データ ファイル マネージャーは、pem形式のファイルをder形式に変換してダウンロードし ます。2Kバイトより大きいサイズのder形式のファイルは、ダウンロードできません。 ダウンロード後のファイル名は、"mqtt_client_certificate.der"になります。	○	○※1
	-MCP	TLSフォルダにクライアント秘密鍵をダウンロードします。 このオプションは、pem形式またはder形式のファイルに対応しています。データ ファイル マネージャーは、pem形式のファイルをder形式に変換してダウンロードし ます。暗号化方式がRSAではない、または鍵長が3072ビットを超える秘密鍵はダウ ンロードできません。 ダウンロード後のファイル名は、"mqtt_private_key.der"になります。	○	○※1
	-SC	TLSフォルダにWebサーバー機能で使用する証明書をダウンロードします。 このオプションは、pem形式またはder形式のファイルに対応しています。データファ イルマネージャーは、pem形式のファイルをder形式に変換してダウンロードします。 2Kバイトより大きいサイズのder形式のファイルは、ダウンロードできません。 ダウンロード後のファイル名は、"server_certificate.der"になります。	○	×
	-SP	TLSフォルダにWebサーバー機能で使用する秘密鍵をダウンロードします。 このオプションは、pem形式またはder形式のファイルに対応しています。データファ イルマネージャーは、pem形式のファイルをder形式に変換してダウンロードします。 暗号化方式がRSAではない、または鍵長が2048ビットを超える秘密鍵はダウン ロードできません。 ダウンロード後のファイル名は、"server_private_key.der"になります。	○	×



• 接続先がHMIの場合、外部メモリは、FT2J/1J形、HG2J/1J形はUSB1に挿入したUSBメモリ、HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F形はSDメモリカード、HG2G-5T形、HG1G/1P形はUSBメモリになります。

• 接続先がHMIの場合、ファイル名が半角英数字および記号のみのファイルに対応しています。ただし、次の文字を含む名前のファイルは、外部メモリにダウンロードできません。

FT2J/1J形、HG2J/1J形： "#\$&'()\*!/:;<>?¥`|~  
連続した2個のピリオド

HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形： "\*/:<>?¥|

※1 FT2J/1J形、HG2J/1J形のみ

## デバイスアドレスのデータをダウンロードする

○：対応、×：非対応

パラメータ		説明	PLC	HMI
¥write_[***]_###	(引数なし)	デバイスアドレスのデータをダウンロードします。 ***：デバイスアドレス ###：データ数 接続先の機器によって、対応デバイスアドレスが異なります。詳細は、次のページを参照してください。 PLC：2-18ページ「第2章 対応デバイス アドレス」 HMI：3-20ページ「第3章 対応デバイス アドレス」 例) 接続先の機器がPLC、書き込み先の先頭デバイス アドレスがM8000、データ数が1、ダウンロードするデータの場所がC:¥app、 ファイル名がM8000、通信先がUSBポートの場合 DataFileManager.exe ¥PLC ¥write_[M8000]_1 "C:¥app¥M8000.csv" USB	○	○
	-R	デバイス アドレスのデータをダウンロードしたあと、接続先の機器をリセットします。	×	○

## ■ アップロード



- 接続先の機器がHG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形またはHG1G/1P形の場合、ZNVプロジェクト ファイルをアップロードするには、接続先の機器のシステム ソフトウェアのバージョンが4.36以降である必要があります。
- ZNXプロジェクト ファイル<sup>※3</sup>はアップロードできません。

## 内蔵メモリのデータをアップロードする

○：対応、×：非対応

パラメータ		説明	PLC	HMI
¥upload	-P	ZLDプロジェクト ファイルをアップロードします。	○	×
		ZNVプロジェクト ファイルをアップロードします。	×	○
	-P-R	ZNVプロジェクト ファイルと外部メモリ内のレシピ ファイルをアップロードします。	×	○
	-P-C	ZNVプロジェクト ファイルと外部メモリ内のピクチャ ファイルをアップロードします。	×	○
	-P-W	ZNVプロジェクト ファイルと外部メモリ内のサウンド ファイルをアップロードします。	×	○
	-ALL	すべての履歴データをアップロードします。	×	○
	-A	アラーム履歴のデータをアップロードします。	×	○
	-L	データ履歴のデータをアップロードします。	×	○
-OP	操作履歴のデータをアップロードします。	×	○	



- 履歴データは、複数のファイルを指定してアップロードできます。  
例) アラーム履歴のデータとデータ履歴のデータをアップロードする場合のパラメータ  
¥upload -A -L

※3 FT2J/1J形、HG2J/1J形のみ

## 外部メモリのファイルをアップロードする

○：対応、×：非対応

パラメータ	説明	PLC	HMI
-S	スクリーンショットをアップロードします。	×	○
-A	アラーム履歴のファイルをアップロードします。	×	○
-L	DLOG 命令のファイルをアップロードします。"DATALOG" フォルダ内のファイルとサブフォルダをすべてアップロードします。	○	×
	データ履歴のファイルをアップロードします。	×	○
-OP	操作履歴のファイルをアップロードします。	×	○
-R	レシピファイルをアップロードします。 接続先の機器がPLCの場合は、"RECIPE"フォルダ内のファイルとサブフォルダをすべてアップロードします。	○	○
-C	ピクチャファイルをアップロードします。	×	○
-W	サウンドファイルをアップロードします。	×	○
-LD	ZLDプロジェクト ファイルをアップロードします。 接続先の機器がPLCの場合は、"PROGRAM"フォルダ内のファイルとサブフォルダをすべてアップロードします。	○	○
-F	動画ファイルリストをアップロードします。	×	○
-M	動画ファイルをアップロードします。	×	○
-T	TRACE命令のファイルをアップロードします。"TRACE"フォルダ内のファイルとサブフォルダをすべてアップロードします。	○	×
-ALL	指定したフォルダ内のすべてのファイルをアップロードします。	○	○
-SFDF	指定したファイルをアップロードします。 このオプションは、他のオプションと併記できません。また、複数ファイルの一括アップロードやフォルダ単位のアップロードには対応していません。	○	×



接続先がHMIの場合、外部メモリは、FT2J/1J形、HG2J/1J形はUSB1に挿入したUSBメモリ、HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F形はSDメモリカード、HG2G-5T形、HG1G/1P形はUSBメモリになります。



- 複数のファイルを指定してアップロードできます。  
例) レシピファイルとZLDプロジェクトファイルをアップロードする場合のパラメータ  
¥cf\_upload -R -LD
- ALL と次のオプションは同じ処理になります。いずれのオプションもすべてのファイルをアップロードします。  
PLC: -L -R -LD -T  
HMI: -S -A -L -OP -R -C -W -LD -F -M

## デバイスアドレスのデータをアップロードする

○：対応、×：非対応

パラメータ	説明	PLC	HMI
¥read_[***]_###	<p>デバイスアドレスのデータをアップロードして、CSV形式のファイルとして保存します。 ***： デバイスアドレス ###： データ数 接続先の機器によって、対応デバイスアドレスが異なります。詳細は、次のページを参照してください。</p> <p>PLC：2-18ページ「第2章 対応デバイス アドレス」 HMI：3-20ページ「第3章 対応デバイス アドレス」</p> <p>例) 接続先の機器がPLC、読み出し元の先頭デバイスアドレスがM8000、データ数が1、アップロードしたデータの保存先がC:¥app、ファイル名がM8000、通信ポートがUSBの場合 DataFileManager.exe ¥PLC ¥read_[M8000]_1 "C:¥app¥M8000.csv" USB</p>	○	○



## ■ クリア

## 内蔵メモリのデータをクリアする

○：対応、×：非対応

パラメータ	説明	PLC	HMI	
¥initialize	-ALL	すべてのデータをクリアします。	×	○
	-A	アラーム履歴のデータをクリアします。	×	○
	-L	データ履歴のデータをクリアします。	×	○
	-OP	操作履歴のデータをクリアします。	×	○
	-LK	すべてのデバイス アドレスの値をクリアします。	○	○
	-CD	コントロール デバイスの値をクリアします。	×	○※5
	-E	内蔵メモリに保存されているコントロール機能のエラー情報をクリアします。	○	○※5



次の特殊データレジスタの値に0を書き込むと、コントロール機能の各エラーをクリアできます。

D8005： 一般エラー

D8006： プログラム実行エラー

## 外部メモリのファイルをクリアする

○：対応、×：非対応

パラメータ	説明	PLC	HMI	
¥cf_initialize	-S	スクリーンショットのファイルをクリアします。外部メモリ フォルダの"CAPTURE"フォルダ内のファイルをすべて削除します。	×	○
	-A	アラーム履歴のファイルをクリアします。外部メモリ フォルダの"ALARMLOG"フォルダ内のファイルをすべて削除します。	×	○
	-L	DLOG 命令のファイルをクリアします。"DATALOG"フォルダ内のファイルとサブフォルダをすべて削除します。	○	×
		データ履歴のファイルをクリアします。外部メモリ フォルダの"DATALOG"フォルダ内のファイルをすべて削除します。	×	○
	-OP	操作履歴のファイルをクリアします。外部メモリ フォルダの"OPERATIONLOG"フォルダ内のファイルをすべて削除します。	×	○
	-R	レシピファイルをクリアします。外部メモリ フォルダの"RECIPE"フォルダ内のファイルをすべて削除します。	○	○
	-T	TRACE命令のファイルをクリアします。"TRACE"フォルダ内のファイルとサブフォルダをすべて削除します。	○	×



接続先がHMIの場合、外部メモリは、FT2J/1J形、HG2J/1J形はUSB1に挿入したUSBメモリ、HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F形はSDメモリカード、HG2G-5T形、HG1G/1P形はUSBメモリになります。



複数のファイルを指定してクリアできます。

例) データ履歴のファイルとレシピファイルをクリアする場合のパラメータ

¥cf\_initialize-L-R

## ■ フォーマット

○：対応、×：非対応

パラメータ	説明	PLC	HMI
¥cf_format	接続先の機器に挿入した外部メモリをフォーマットします。	○	○※6

※5 FT2J/1J形のみ

※6 HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/5T形、HG1G/1P形のみ

## ● ファイルパスまたはフォルダーパス

ダウンロードするファイル、アップロードするファイル、またはアップロード先のフォルダーを指定します。ファイルやフォルダーの場所は絶対パスで指定します。絶対パスは半角のダブルクォーテーション (") で囲みます。複数のファイルを一括ダウンロードする場合は、ファイル名を半角スペースで区切ります。

パラメータ	説明
ファイルパス	ファイルパスを指定します。 例) イーサネットポートからC:\USERDATAにあるSampleProject.znxを接続機器 (IPアドレス: 192.168.1.150、ポート番号:2537) にダウンロードする場合 DataFileManager.exe %HMI %download -C "C:\USERDATA\SampleProject.znx" 192.168.1.150:2537 複数のファイルを指定する場合、それぞれのファイルパスを半角スペースで区切って指定します。 例) USBポートからC:\USERDATAにあるRCP0001.CSVとRCP0002.CSVを外部メモリにダウンロードする場合 DataFileManager.exe %HMI %cf_download -U "C:\USERDATA\RCP0001.CSV" "C:\USERDATA\RCP0002.CSV" USB
フォルダーパス	フォルダーパスを指定します。 例) イーサネットポートから接続機器 (IPアドレス: 192.168.1.6、ポート番号:2537) のZNVプロジェクトファイルをアップロードし、C:\USERDATA\uploaddataに保存する場合 DataFileManager.exe %HMI %upload -P "C:\USERDATA\uploaddata" 192.168.1.6:2537
ファイルパスとフォルダーパス※1	アップロードするファイルパス、保存先のフォルダーパスの順に半角スペースで区切って指定します。複数ファイルの一括アップロードやフォルダー単位のアップロードには対応していません。 例) USBポートからSDメモリカードのFCDATA01のRECIPEフォルダーにあるRCP0001.csvをC:\USERDATAにアップロードする場合 DataFileManager.exe %HMI %cf_upload -SFDF "/SD/FCDATA01/RECIPE/RCP0001.csv" "C:\USERDATA" USB



- ・ [機能] に"クリア"または"フォーマット"を設定した場合、このパラメータを入力しないでください。
- ・ [動作モード] に"サイレントモード"、[機能] に"ダウンロード"または"アップロード"を設定した場合、このパラメータは必須です。



[動作モード] に"通常モード"を設定した場合、このパラメータを省略すると、通信開始前に [開く] ダイアログボックスまたは [フォルダーの参照] ダイアログボックスが表示されます。

## ● 通信先 (必須)

接続先の通信ポートやIPアドレスを指定します。対応しているパラメータは、接続先の機器によって異なります。

○：対応、×：非対応

パラメータ	ポート	説明	PLC	HMI
COM###:a:b:c:d COM###:BLUETOOTH	シリアル	COMポートと通信設定を指定します。 ###：ポート番号 a：通信速度、b：データ長、c：パリティ (奇数=1、偶数=2、なし=0)、 d：ストップビット 例) COM1:115200:7:0:1 :a:b:c:dを省略した場合は、通信設定を自動検出します。 Bluetooth通信を使う場合は、COMポートとBLUETOOTHを指定します。 例) COM1:BLUETOOTH	○	×
USB	USB	USBポートを指定します。	○	○※2
xxx.xxx.xxx.xxx:###	イーサネット	IPアドレスを指定します。 xxx：0から255までの値、###：ポート番号 例) 192.168.1.5:2101 :###を省略した場合は、次のポート番号で接続します。 PLC：2101 HMI：2537	○	○



通信先のポートに"シリアル"を設定した場合、接続先の機器に挿入された外部メモリにアクセスできません。ただし、Bluetooth通信を使う場合は、接続先の機器に挿入された外部メモリにアクセスできます。

※1 パラメータ%cf\_upload -SFDFのみ対応

※2 HG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形のみ

## ● ユーザー名

接続先の機器のプロジェクトに設定されているユーザー名を指定します。

○：対応、×：非対応

パラメータ	説明	PLC	HMI
user-+++	ユーザー名を指定します。ユーザー名を指定する場合、user- は常に必要です。 +++：ユーザー名	×	○



指定したユーザー名に対応するパスワードが正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。



- ユーザー名を指定した場合、パスワードの指定も必要です。  
接続先の機器がHG5G/4G/3G/2G-V形、HG4G/3G形、HG2G-5F/-5T形、HG1G/1P形で、システムソフトウェアのバージョンが4.55以降の場合、接続先の機器のプロジェクトでセキュリティ機能を使用していると、ユーザー名の指定が必要です。
- スペースを含む場合は、ユーザー名をダブルクォーテーション (") で囲んでください。



例) 接続先の機器にAdministratorセキュリティグループの [ユーザー名] に"admin 1"、[パスワード] に"PASSWORD"を設定済みで、ZNVプロジェクトファイルをアップロードする場合のパラメータ  
DataFileManager.exe ¥HMI ¥upload -P USB user-"admin 1" pass-PASSWORD

## ● パスワード

接続先の機器のプロジェクトに設定されているパスワードを指定します。

○：対応、×：非対応

パラメータ	説明	PLC	HMI
pass-@@@	パスワードを指定します。パスワードを指定する場合、pass- は常に必要です。 @@@：パスワード	○	○



指定したパスワードが正しくない場合は、エラーメッセージが表示されます。



- [動作モード] に"通常モード"を設定し、このパラメータを省略した場合、[パスワードの確認] ダイアログボックスが表示されます。
- スペースを含む場合は、パスワードをダブルクォーテーション (") で囲んでください。

# IDEC株式会社

〒532-0004 大阪市淀川区西宮原2-6-64

 [jp.idec.com](http://jp.idec.com)



お問合せはこちらから

- ・本マニュアル中に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社が商標または登録商標として使用している場合があります。
- ・仕様、その他記載内容は予告なしに変更する場合があります。

B-1924(12) 本マニュアル記載の情報は、2024年7月現在のものです。

